

CAD ・ Abutment / CAD ・ アバットメント

- *Screw retain Abutment Scan / スクリューリテイン アバットメント スキャン*
- *Screw retain Abutment Design / スクリューリテイン アバットメント デザイン*



CAD ・ Abutment / CAD ・ アバットメント

- Screw retain Abutment Scan / スクリューリテイン アバットメント スキャン





修復物のデザイン

スキャンから模型を製作

模型のスキャンと送信

症例のインポート

【新規スキャンを開始する場合】

スキャン・ウィンドウから修復物のデザインを選択します

以下情報を各項目に入力し、【次へ】をクリックします

患者：(必須項目)
患者名を入力します

症例ID：
患者毎に割り当てられたカルテNo等を入力します(※省略可)

期日：
入力した年月日から、ソフトウェアが期日を計算します(※省略可)

歯科医院：郵便番号(必須項目)
歯科医院名を入力いたします。

歯科技工所または歯科医院：
歯科技工所または歯科医院名を入力いたします(※省略可)

症例を追加 × キャンセル

症例情報

患者 (必須項目)

症例ID

期日
25 3月 2019

歯科医の情報

歯科医名 (必須項目) 郵便番号 (必須項目)

歯科技工所または歯科医院

● ○ 次へ >

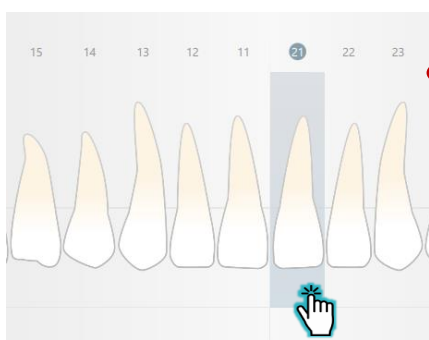
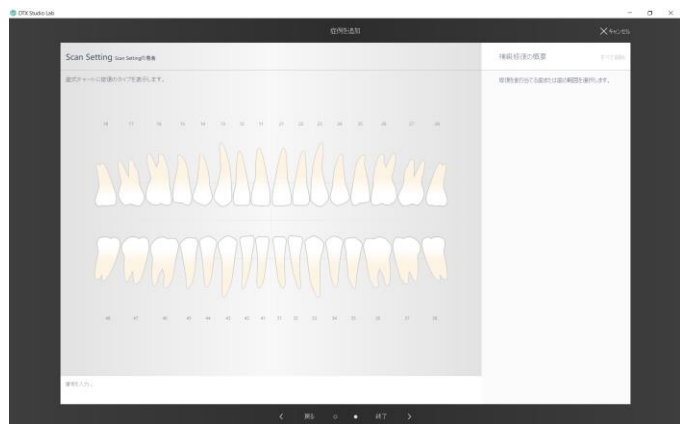
DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

スキャン・セッティング・ウィンドウから修復物のデザインを選択します

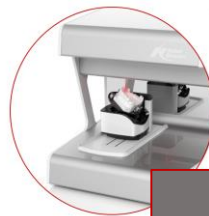


- Restorations
- Interfaces
- Abutment**
- Abutment + Restoration
- Full contour implant crown
- Base
- On1 crown
- Abutment on Base
- Abutment on Base + Restoration
- Universal base crown
- Cement retained
- Coping
- Inlay, Onlay
- Veneer
- Full contour crown

製作する部位にカーソルを合わせ、製作部位の背景色を反転させクリックすると、修復物選択ウィンドウが表示されます。

【Abutment】を選択します

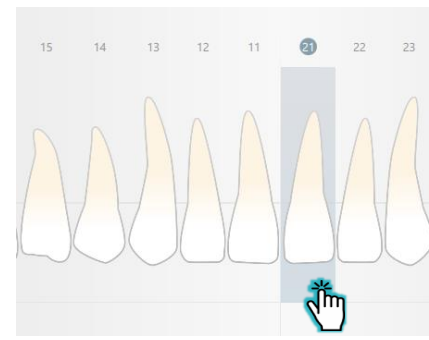
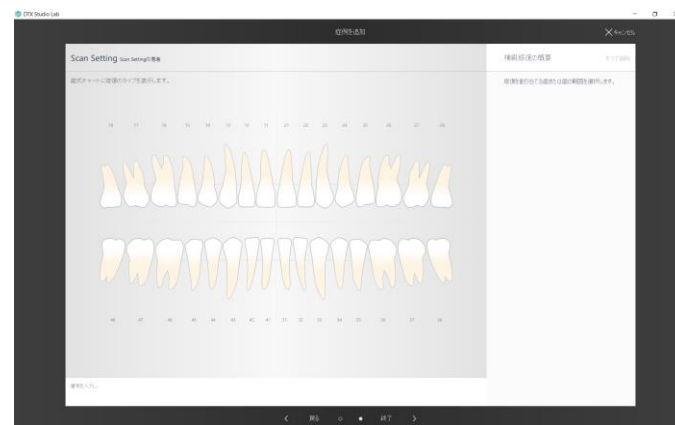
CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

スキャン・セッティング・ウィンドウから修復物のデザインを選択します



- 補綴修復
- 接合部
- アバットメント**
- アバットメント + 補綴修復
- フルカントウア・アバットメント・クラウン
- ベース
- On1クラウン
- ベース上のアバットメント
- ベース上のアバットメント + 補綴修復
- ユニバーサルベース・クラウン
- セフト固定
- コーピング
- インレー、アンレー
- ベニア
- フルカントウア・クラウン

製作する部位にカーソルを合わせ、製作部位の背景色を反転させクリックすると、修復物選択ウィンドウが表示されます。

【アバットメント】を選択します

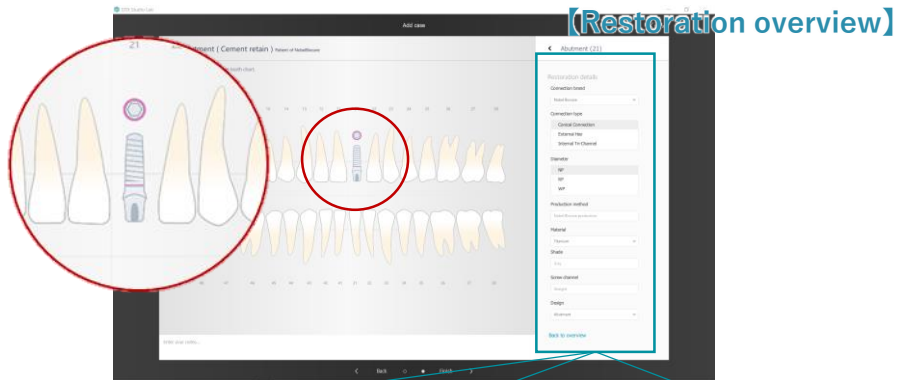
DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【Restoration overviewの概要】

【Restoration overview】設定を行うと、歯式の画像が切り変わります



Restoration details

Connection brand
Nobel Biocare

Connection type
Conical Connection
External Hex
Internal Tri-Channel

Diameter
NP
RP
WP

インプラントを選択します

Production method
Nobel Biocare production

Material
Zirconia

Shade
White

製作方法、材質、色調を選択いたします

Screw channel
Straight

Design
Abutment

スクリーアクセスホール、形状を選択いたします

CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン

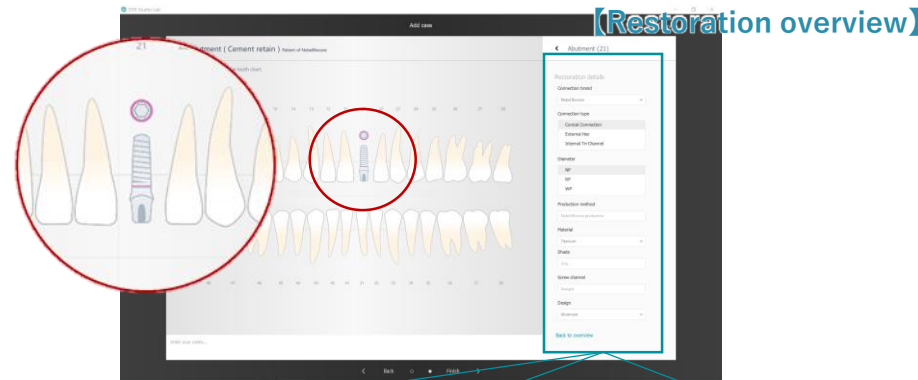


Genion 2 Scanner

Scan

【Restoration overviewの概要】

【Restoration overview】設定を行うと、歯式の画像が切り変わります



コネクションのメーカー名
Nobel Biocare

コネクションのタイプ
Conical Connection
External Hex
Internal Tri-Channel

直径
NP
RP
WP

インプラントを選択します

製作方法
Nobel Biocare production

材質
Zirconia

シェード
Medium

製作方法、材質、色調を選択いたします

スクリーチャンネル
Straight

デザイン
アバットメント

スクリーアクセスホール、形状を選択いたします

DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【Restoration overviewの概要】

【Restoration overview】設定の詳細項目

修復の詳細

Restoration details

Connection brand
Nobel Biocare

Connection type
Conical Connection
External Hex
Internal Tri-Channel

Diameter
NP
RP
WP

Production method
Nobel Biocare production

Material
Zirconia

Shade
White

Screw channel
Straight

Design
Abutment

[Back to overview](#)

- Connection brand
 - ・ Alpha-Bio Tec (現在製作不可)
 - ・ NobelBiocare
- Connection type
 - ・ 選択したシステムに準ずる
- Diameter
 - ・ 選択したシステムに準ずる
- Production method
 - ・ NobelBiocare Production center only
- Material
 - ・ Titanium
 - ・ Zirconia
- Shade
 - ・ 選択されたProductに準ずる
- Screw channel
 - ・ Straight
 - ・ Straight metal adapter (NobelBiocare CC のみ)
 - ・ Angulated (NobelBiocare CC のみ)
- Design
 - ・ Abutment (Cement retain)
 - ・ Screw retain crown

CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Genion 2 Scanner

【Restoration overviewの概要】

【Restoration overview】設定の詳細項目

修復の詳細

コネクションのメーカー名
Nobel Biocare

コネクションのタイプ
Conical Connection
External Hex
Internal Tri-Channel

直径
NP
RP
WP

製作方法
Nobel Biocare production

材質
Zirconia

シェード
Medium

スクリューチャンネル
Straight

デザイン
アバットメント

- コネクションのメーカー名
 - ・ Alpha-Bio Tec (現在製作不可)
 - ・ NobelBiocare
- コネクションのタイプ
 - ・ 選択したシステムに準ずる
- 直径
 - ・ 選択したシステムに準ずる
- 製造方法
 - ・ NobelBiocare Production center only
- 材質
 - ・ Titanium
 - ・ Zirconia
- シェード
 - ・ 選択されたProductに準ずる
- スクリュー・チャンネル
 - ・ Straight
 - ・ Straight metal adapter (NobelBiocare CC のみ)
 - ・ Angulated (NobelBiocare CC のみ)
- デザイン
 - ・ アバットメント (セメント固定)
 - ・ スクリュー固定によるクラウン

DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

修復の詳細

Restoration details

Connection brand
Nobel Biocare

Connection type
Conical Connection
External Hex
Internal Tri-Channel

Diameter
NP
RP
WP

Production method
Nobel Biocare production

Material
Zirconia

Shade
Medium

Screw channel
Straight

Design
Screw retained crown

[Back to overview](#)

例：(本項での手順)
ZirconiaのScrew retain abutmentを製作する場合
(NobelBiocare インプラントシステムを使用)

- Connection brand
・ NobelBiocare
- Connection type
・ Conical Connection
- Diameter
・ RP
- Production method
・ NobelBiocare Production
- Material
・ Zirconia
- Shade
・ Medium
- Screw channel
・ Straight
- Design
・ Screw retain crown

CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

修復の詳細

コネクションのメーカー名
Nobel Biocare

コネクションのタイプ
Conical Connection
External Hex
Internal Tri-Channel

直径
NP
RP
WP

製作方法
Nobel Biocare production

材質
Zirconia

シェード
Medium

スクリューチャンネル
Straight

デザイン
アバットメント

例：(本項での手順)
ZirconiaのScrew retain abutmentを製作する場合
(NobelBiocare インプラントシステムを使用)

- コネクションのメーカー名
・ NobelBiocare
- コネクションのタイプ
・ Conical Connection
- 直径
・ RP
- 製作方法
・ NobelBiocare Production
- 材質
・ Zirconia
- シェード
・ Medium
- スクリュー・チャンネル
・ Straight
- デザイン
・ スクリュー固定によるクラウン

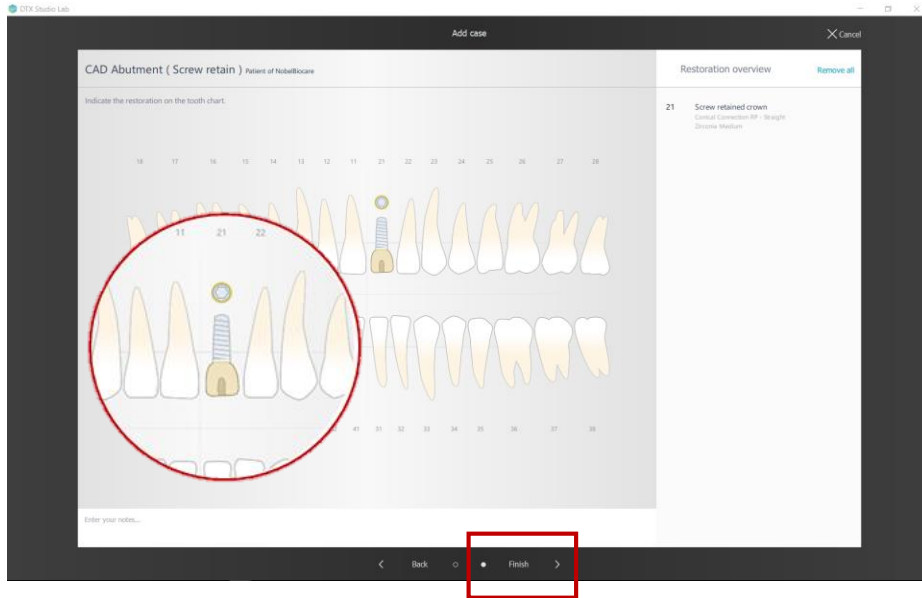
DTX Studio™ Lab 1.10



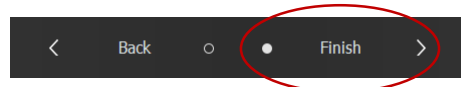
Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

設定を行うと、歯式内の図も変更されます



設定が完了したら、画面下の
【Finish】ボタンで終了します



CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



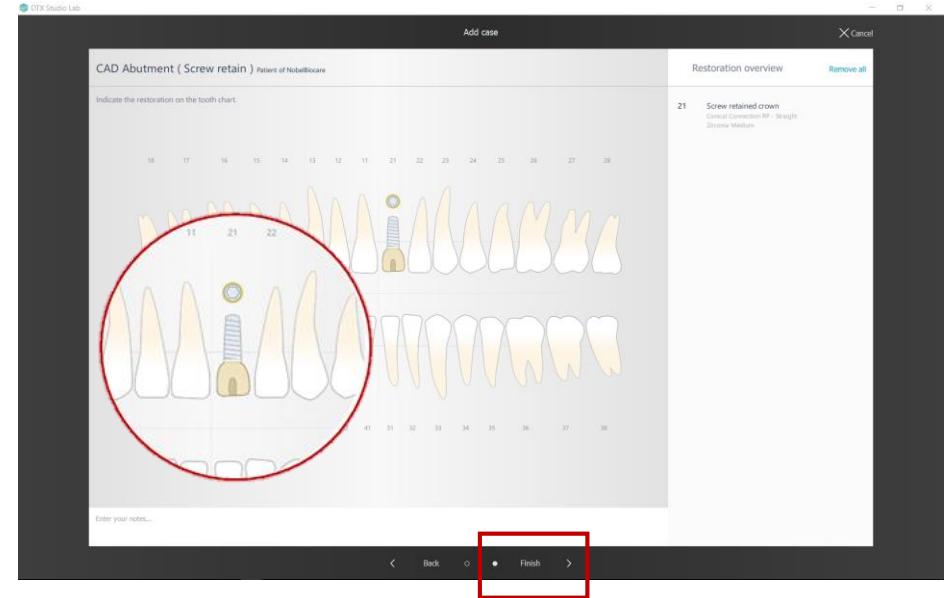
Scan



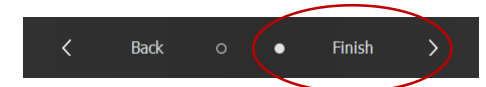
Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

設定を行うと、歯式内の図も変更されます



設定が完了したら、画面下の
【Finish】ボタンで終了します



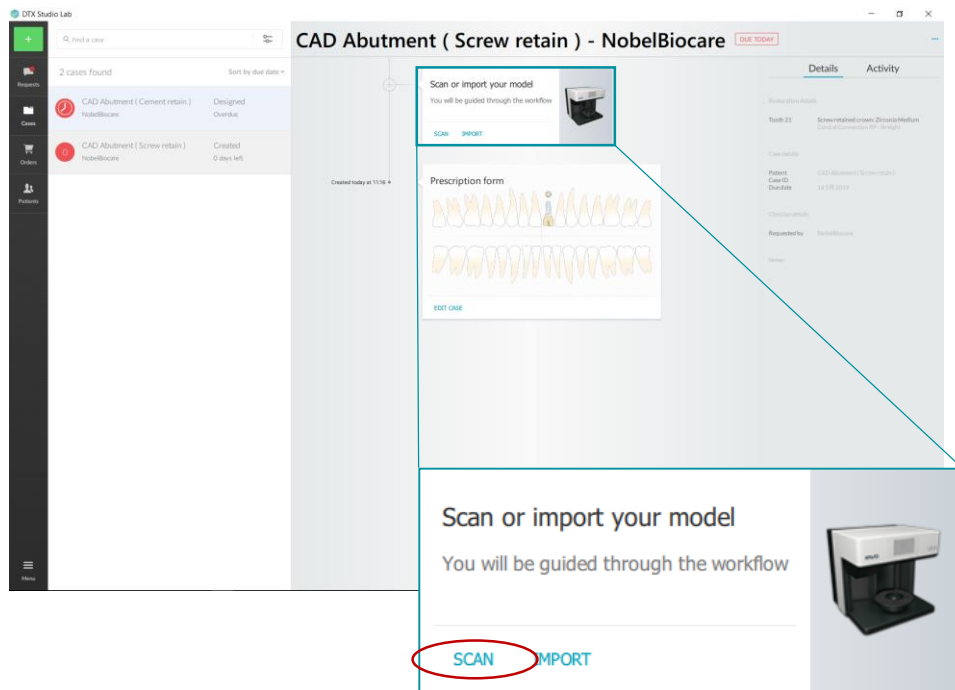
DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

DTX STUDIO Lab のトップページに切り変わります



上段の、【SCAN】ボタンから、スキャンを開始します

CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

DTX STUDIO Lab のトップページに切り変わります



上段の、【スキャン】ボタンから、スキャンを開始します

DTX Studio™ Lab 1.10



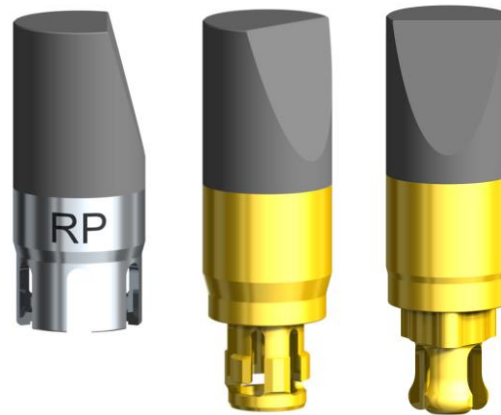
【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

- 作業模型
 - ・分割模型が望ましい
 - ・ガム材使用が望ましい
- アバットメントポジションロケーター



作業模型



各種アバットメントポジションロケーター

DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

モデルホルダーにスキャン模型を固定し、LS3 スキャナーへ装着します。 ※図1

KaVoプロター咬合器専用のマウンティングプレート装着している場合は、直接スキャナーへ装着します ※図2

図1



モデルホルダへの装着例

図2



KaVoプロター咬合器専用のマウンティングプレートへ装着例

CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Genion 2 Scanner

Scan

【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

モデルホルダーG2にスキャン模型を固定し、Genion2 スキャナーへ装着します。



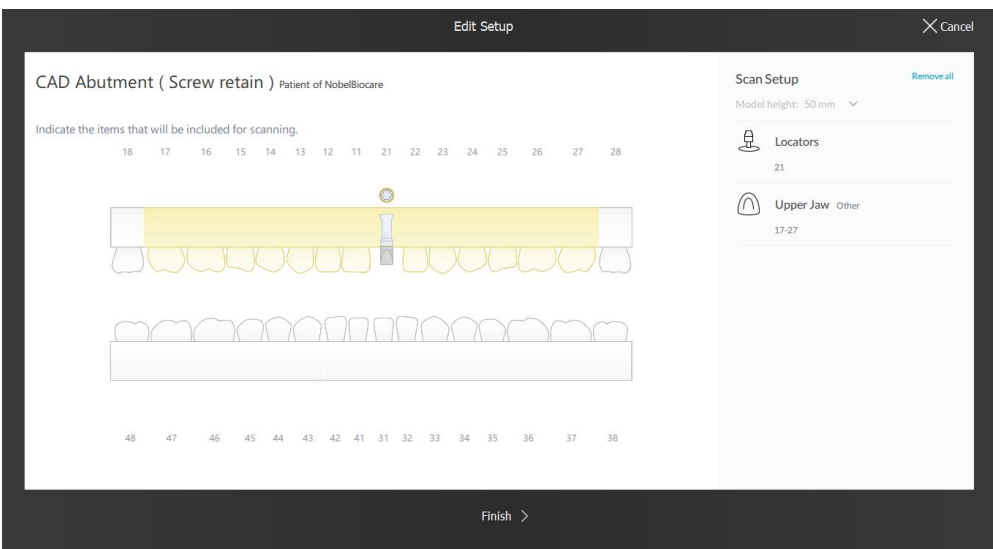
DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanの設定を行います



図のように、デフォルトでスキャン項目と範囲が選択されています

CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



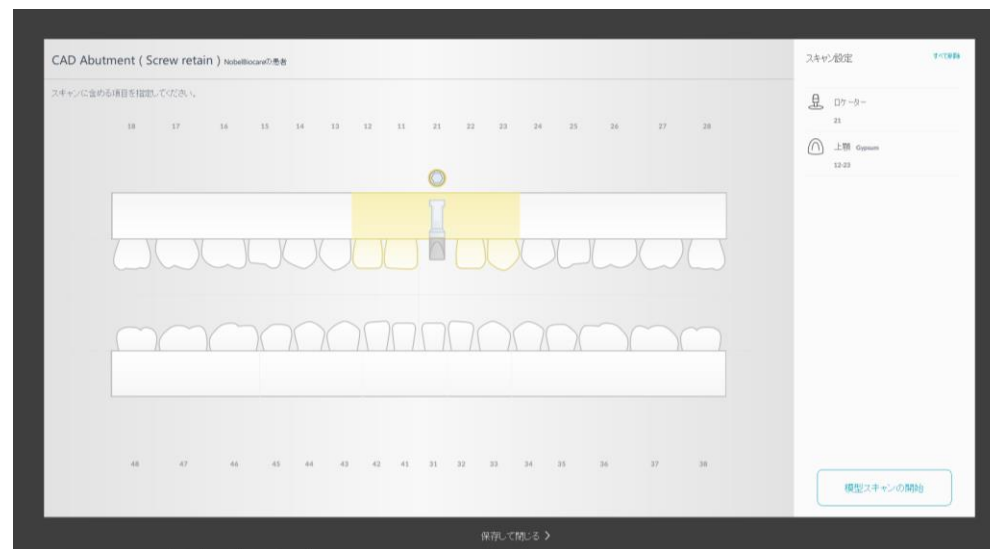
Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanの設定を行います



図のように、デフォルトでスキャン項目と範囲が選択されています

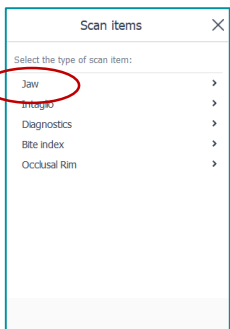
DTX Studio™ Lab 1.10



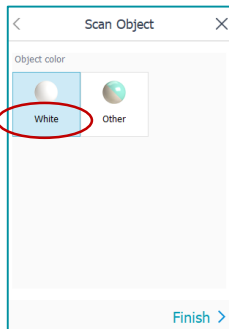
Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います（修復する顎）



Scan itemsから【Jaw】を選択します



Scan Objectを選択し【Finish】をクリックし終了します

CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



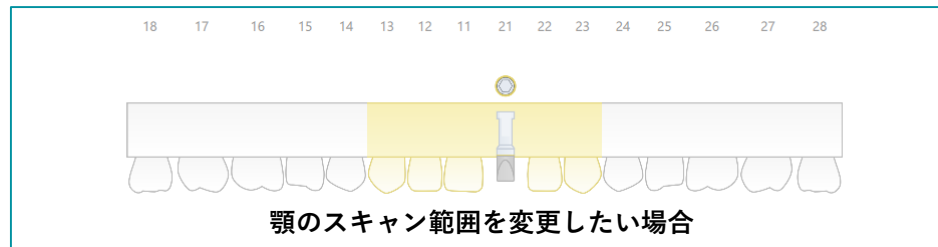
Scan



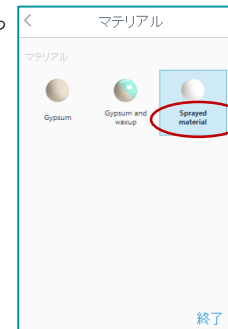
Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います（修復する顎）



スキャン・アイテムから【顎】を選択します



マテリアルを選択し【終了】をクリックし終了します

DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

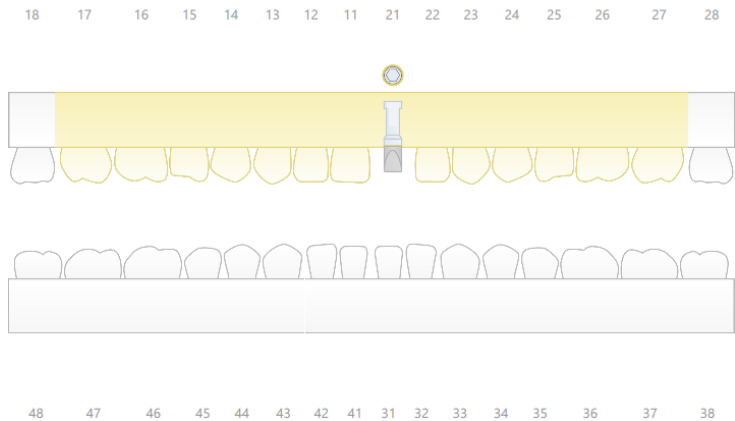
【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います（修復する顎）

顎のスキャン範囲の設定完了

CAD Abutment (Screw retain) Patient of NobelBiocare

Indicate the items that will be included for scanning.



CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan



Genion 2 Scanner

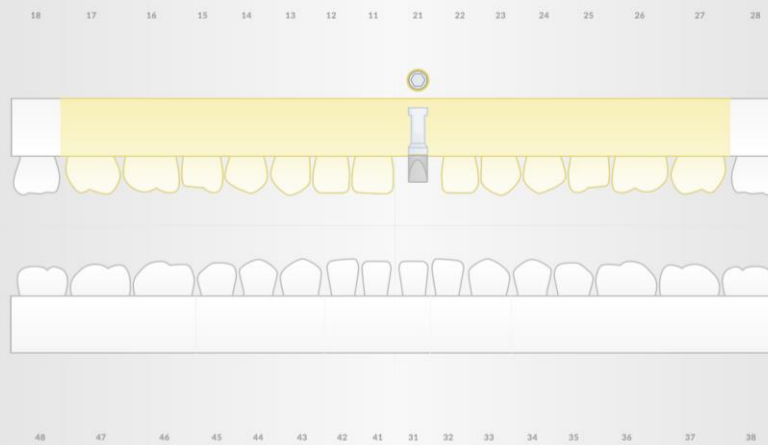
【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います（修復する顎）

顎のスキャン範囲の設定完了

CAD Abutment (Screw retain) NobelBiocareの患者

スキャンに含める項目を選択してください。



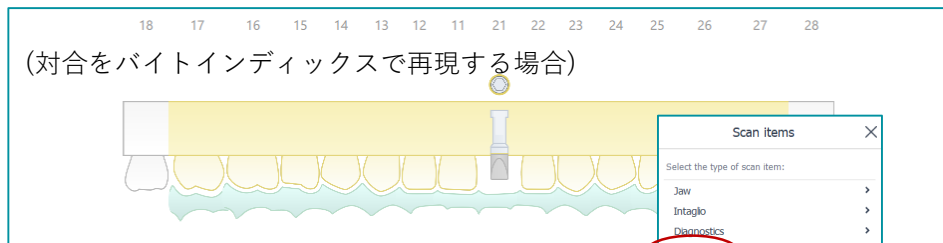
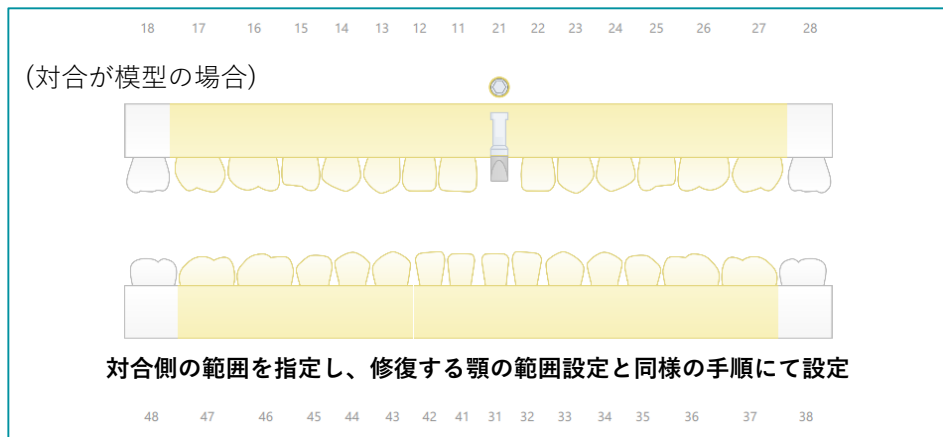
DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います（対合する顎）



修復側の顎の範囲を指定し、Scan itemsの項目から【Bite Index】を選択します

CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

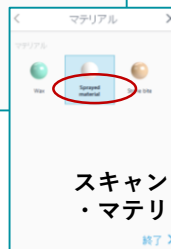
バイトインディックスのScan範囲設定を行います（修復する顎）



【対合をバイトインディックスで再現する場合】



Genion2で対合模型をスキャンする場合は、スキャン可能高径などの影響で、スキャンができない場合があります



スキャン・アイテムから【バイトインディックス】
・マテリアルから項目を選択し【終了】を左クリックします

DTX Studio™ Lab 1.10

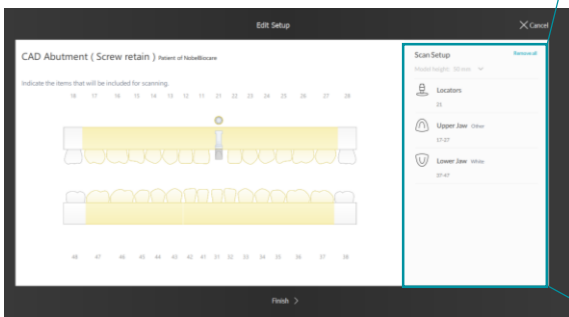


Kavo LS3 Scanner

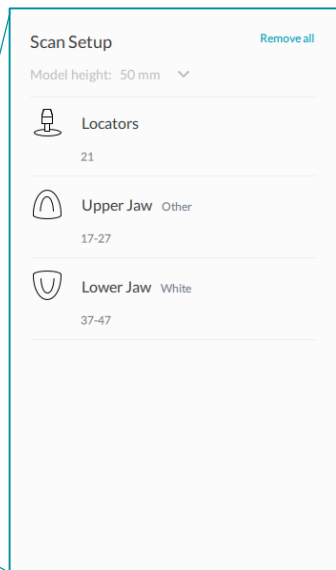
【新規スキャンを開始する場合】

Scanの設定を行います

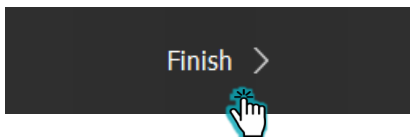
設定を行うと同時に、Scan Setupの項目が追加され、Scanの準備が整います



本項では、対合模型のScan方法で説明しています



設定が完了したら、画面下の【Finish】をクリックし設定を完了します



CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン

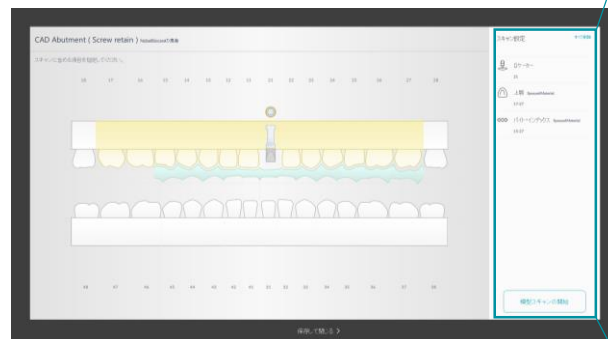


Genion 2 Scanner

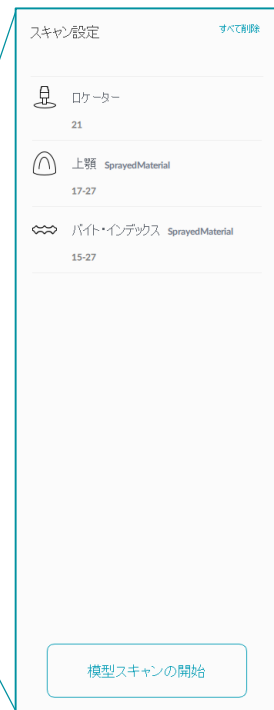
【新規スキャンを開始する場合】

Scanの設定を行います

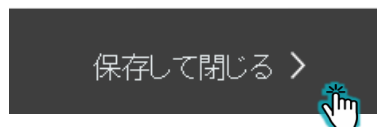
設定を行うと同時に、スキャン設定の項目が追加され、Scanの準備が整います



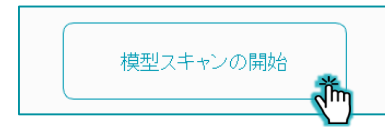
本項では、バイトインデックスのScan方法で説明しています



設定が完了し保存したい場合は、画面下の【保存して閉じる】をクリックし設定を保存します。



設定が完了しスキャンに移動したい場合は、スキャン設定下部の【模型スキャンの開始】をクリックします。



DTX Studio™ Lab 1.10



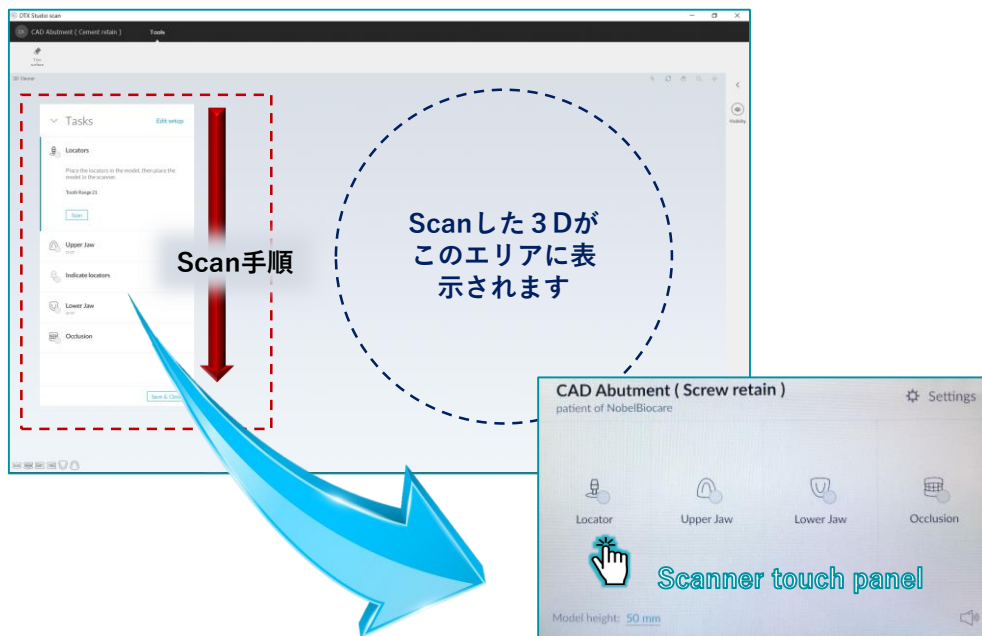
Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Scan画面が開きます

Scan Tasksに表示されている順番(上から下)でScanを行ってください。
各項目の【Scan】をクリックするとScanを開始します。



スキャナータッチパネルからもスキャンを開始できます。
各項目をタッチし、さらに【Scan】をタッチするとスキャンを開始します

CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Scan画面が開きます

領域指定オブジェクトが表示されますので、スキャン対象物に領域指定を行いScanを行ってください。
各項目画面下の【>】を左クリックするとScanが開始します。



DTX Studio™ Lab 1.10

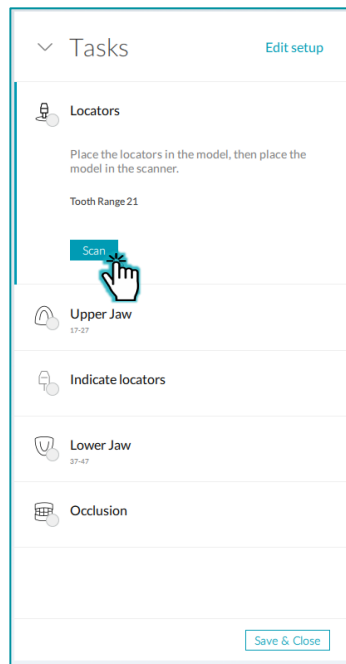


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Locators項目の【Scan】をクリックしScanを開始します



模型にロケータを装着した状態でScanを行います。ロケータがレプリカにしっかり適合している事を確認するため、ガム材を外してスキャンする事を推奨します



Scanner タッチパネルからもスキャンを開始できます。

CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan



Genion 2 Scanner

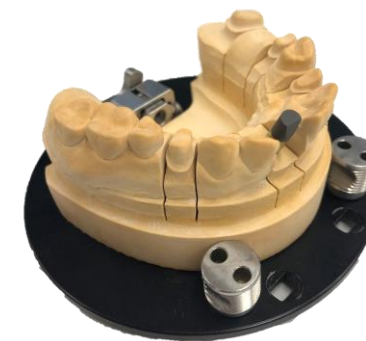
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ロケータースキャンを開始します



模型にロケータを装着した状態でScanを行います。ロケータがレプリカにしっかり適合している事を確認するため、ガム材を外してスキャンする事を推奨します



DTX Studio™ Lab 1.10

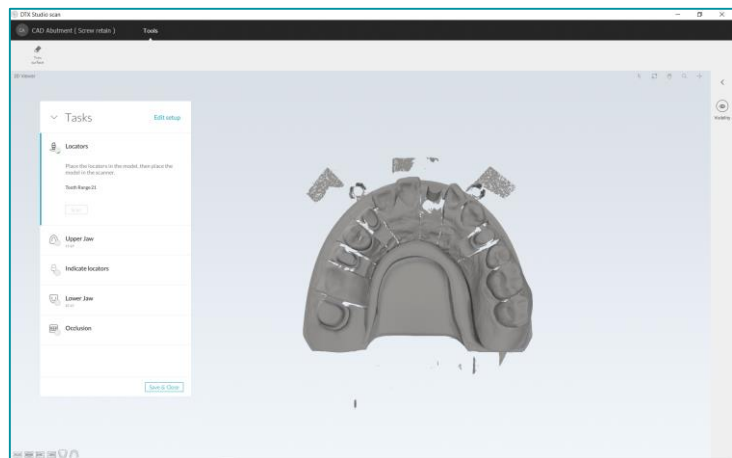
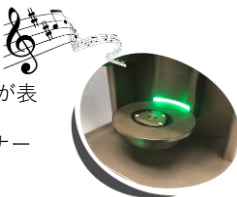


Kavo LS3 Scanner

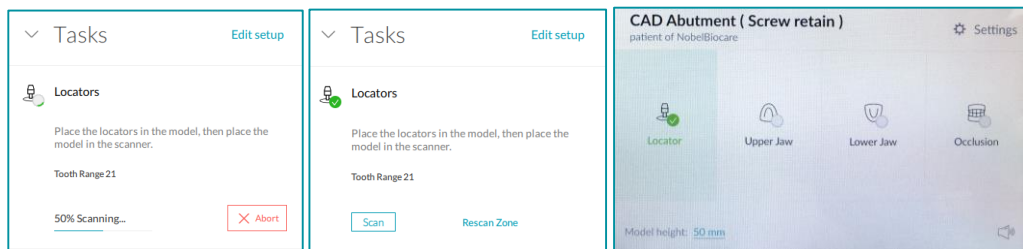
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Scanを実行すると、TasksにScanning 進行率が表示され、画面中央に3Dデータが表示されます。Scanが終了すると、効果音とともに、スキャナーが緑色に光ります



Scanが終了すると、項目アイコンの横にチェックマークが点灯します



Scan進行中の画面
(ソフトウェア側)

Scan終了時の画面
(ソフトウェア側)

Scan終了時の画面
(スキャナー側)

CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan

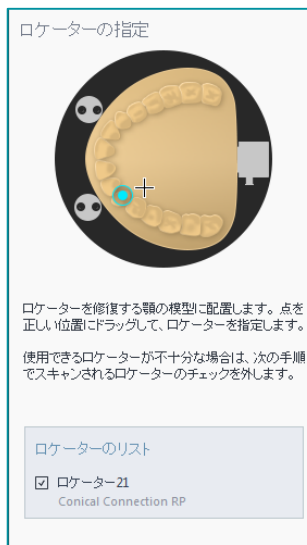


Genion 2 Scanner

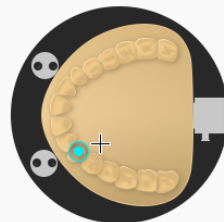
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ロケータースキャン画面が表示されたら、模型の設定、スキャン領域設定を行い画面下の【次へ】をクリックしScanを開始します

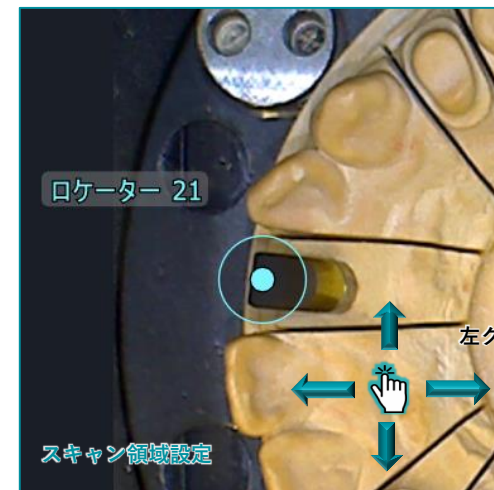


ロケーターの指定



ロケーターを修復する側の模型に配置します。点を正しい位置にドラッグして、ロケーターを指定します。
使用できるロケーターが不十分な場合は、次の手順でスキャンされるロケーターのチェックを外します。

ロケーターのリスト
 ロケーター21
Conical Connection RP



ロケーター 21

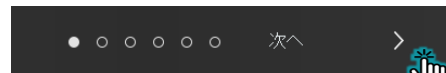
左クリック

スキャン領域設定

Scan対象物に領域指定を行い、画面下の【>】を左クリックすると、Scanを開始します



左ドラック：
ポイントをつかみ、移動します



DTX Studio™ Lab 1.10

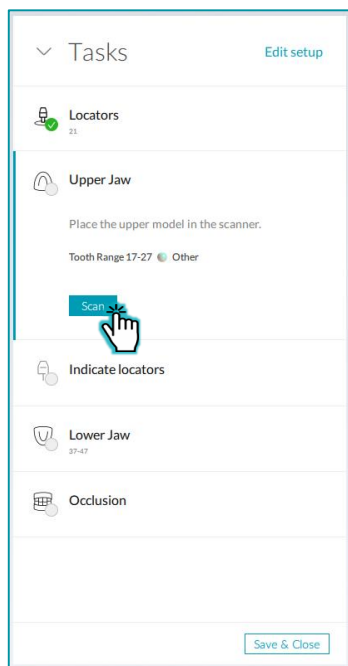


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎)項目の **【Scan】** をクリックしScanを開始します



ロケーターを除去し、ガム材を装着した状態でScanを行います。



Scanner タッチパネルからもスキャンを開始できます。

CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ロケーターのスキャン



Scanが進行すると、スキャン経過とともにドットが表示されます。

DTX Studio™ Lab 1.10

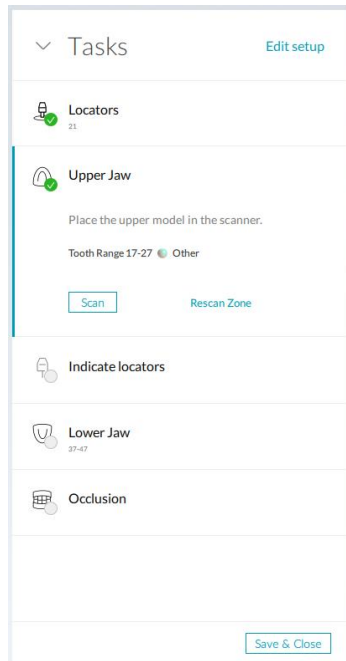


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎) のスキャン完了



カラーズキャンを行った場合



CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan

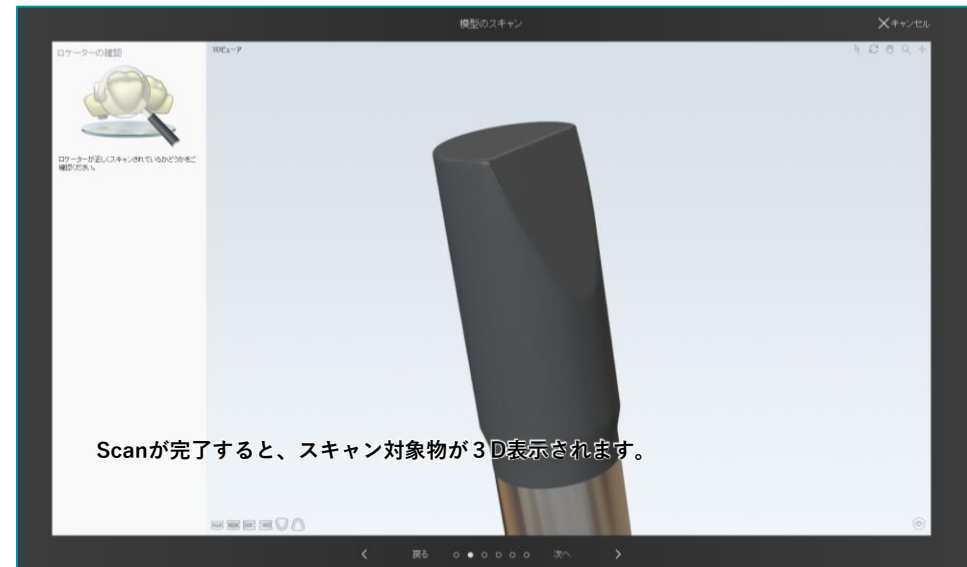


Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ロケーターのスキャン完了



Scanが終了したら、画面下の【>】を左クリックすると、次の項目へ移動します



DTX Studio™ Lab 1.10

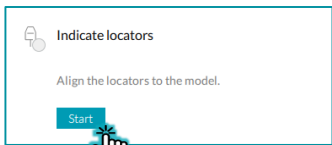


Kavo LS3 Scanner

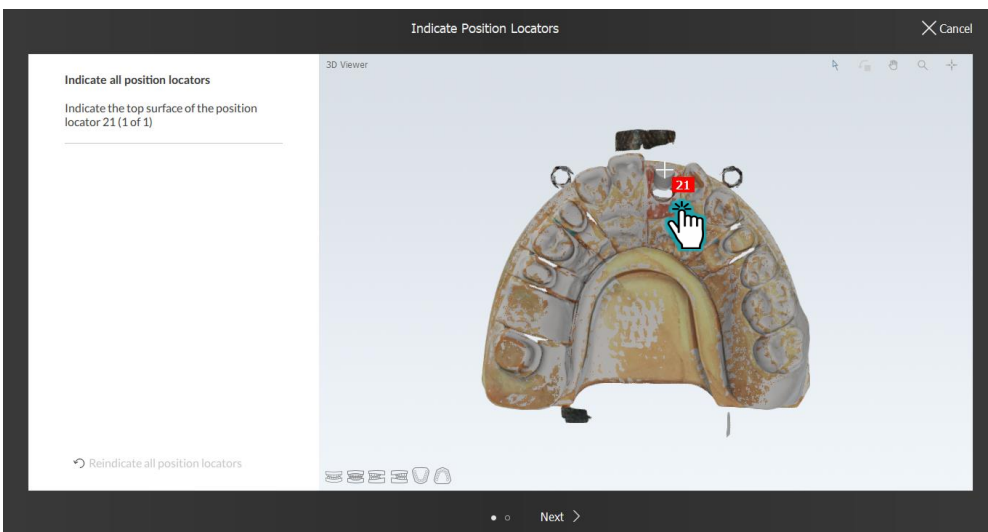
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

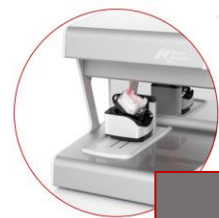
Indicate Locatorsの【Start】をクリックし、Locatorの確認を開始します



下図のように、【+字キー】をLocatorの中心に合わせクリックします。



CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Genion 2 Scanner

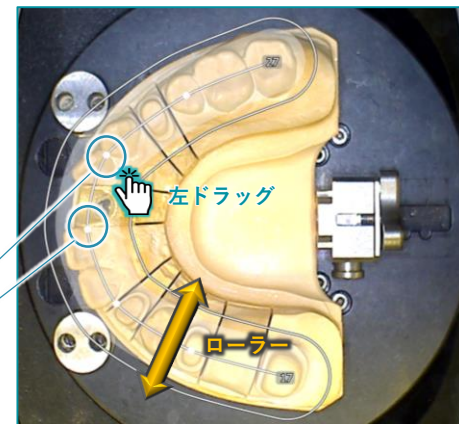
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎)のスキャンを開始します



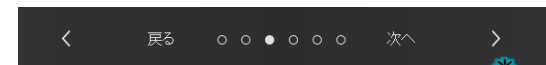
ロケータを除去し、ガム材を装着した状態でScanを行います。



左ドラッグ：
ポイントをつかみ、移動します

ローラー：
領域の幅を拡大/縮小します

領域指定が完了し、画面下の【>】を左クリックすると、Scanが開始されます



DTX Studio™ Lab 1.10

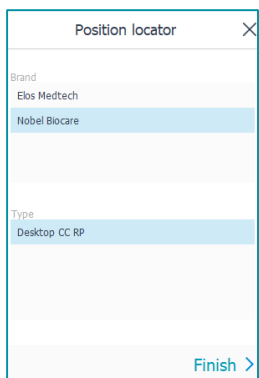


Kavo LS3 Scanner

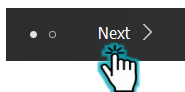
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

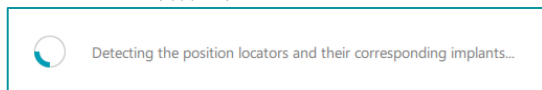
実際に使用したPosition Locatorの種類を選択し【Finish】をクリックします。



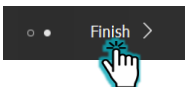
Position Locatorと、ソフトウェアがはめ込んだ、青色のロケータデータにズレが起きていなければ、【Next】をクリックします



ソフトウェアが計算を行います



Position Locatorのアライメントが終了したら、【Finish】をクリックします



CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎)のスキャン



DTX Studio™ Lab 1.10

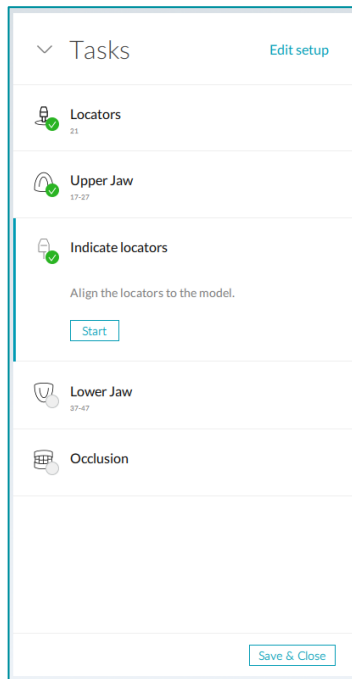


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Indicate Locatorsの完了



カラーズキャンを行った場合



CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan



Genion 2 Scanner

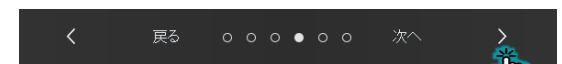
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎)のスキャン完了



Scanが終了したら、画面下の【>】を左クリックすると、次の項目へ移動します



DTX Studio™ Lab 1.10

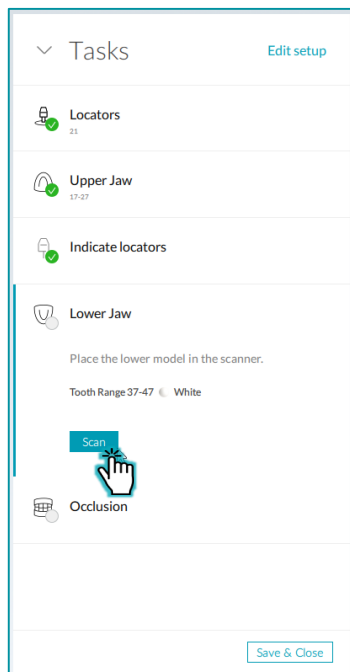


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Lower Jaw(対合側の顎)項目の **【Scan】** をクリックしScanを開始します



対合模型をモデルホルダーに装着します。



スキャナータッチパネルからもスキャンを開始できます。

CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

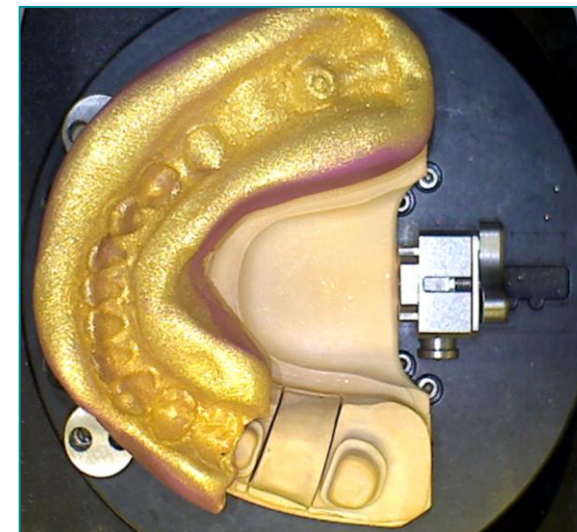
Scanを行います

バイトインディックス(修復側の顎)のスキャンを開始します



修復側顎模型にバイトインディックスを装着し、スキャンスプレーもしくは、スキャンパウダーを塗布します

青いスプレー&パウダーはScanできません



DTX Studio™ Lab 1.10

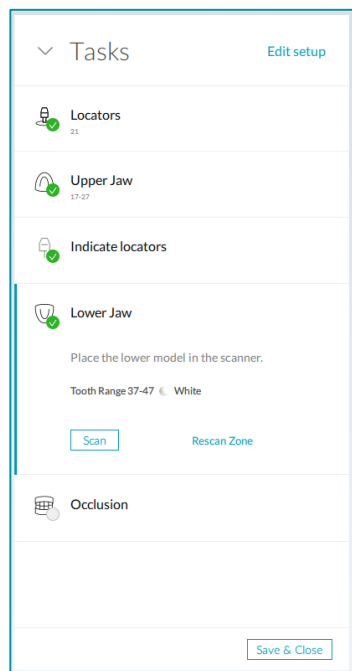


Kavo LS3 Scanner

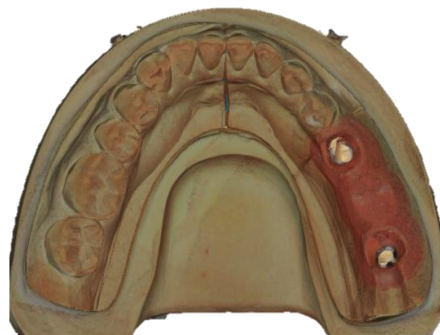
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Lower Jaw(対合側の顎) のスキャン完了



カラスキャンを行った場合



CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan

Genion 2 Scanner

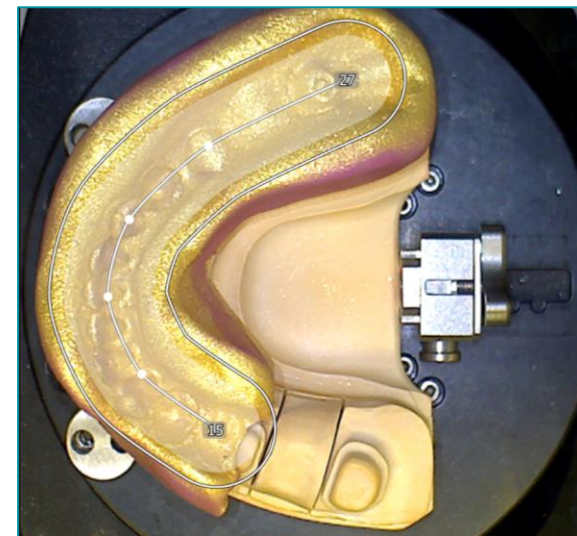
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

バイトインディックス(修復側の顎)のスキャンを開始します



スキャン領域の指定を行います。



スキャン領域を指定したら、画面下の【>】を左クリックすると、スキャンが開始されます。



DTX Studio™ Lab 1.10

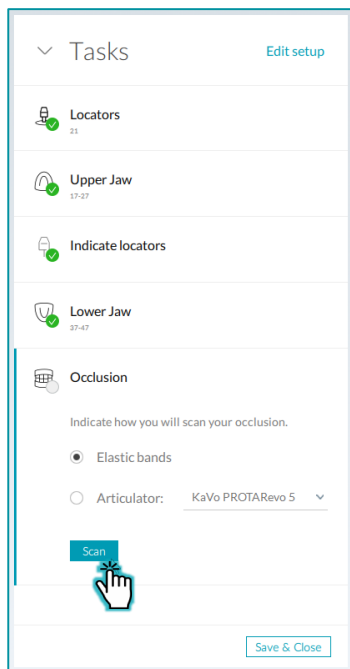


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Occlusion(咬合)項目の **【Scan】** をクリックしScanを開始します



上下顎を固定します。
対合側の模型はモデルホルダーから外さずに、
修復側の顎模型を固定します。

固定方法

- ✓ ゴムバンド
 - ✓ ワックス
 - ✓ 金属バー
- などを使用します



本項では、ワックスを使用し固定しています。
咬合器Scanを行う場合は、咬合器スキャンの項を参照してください

CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan

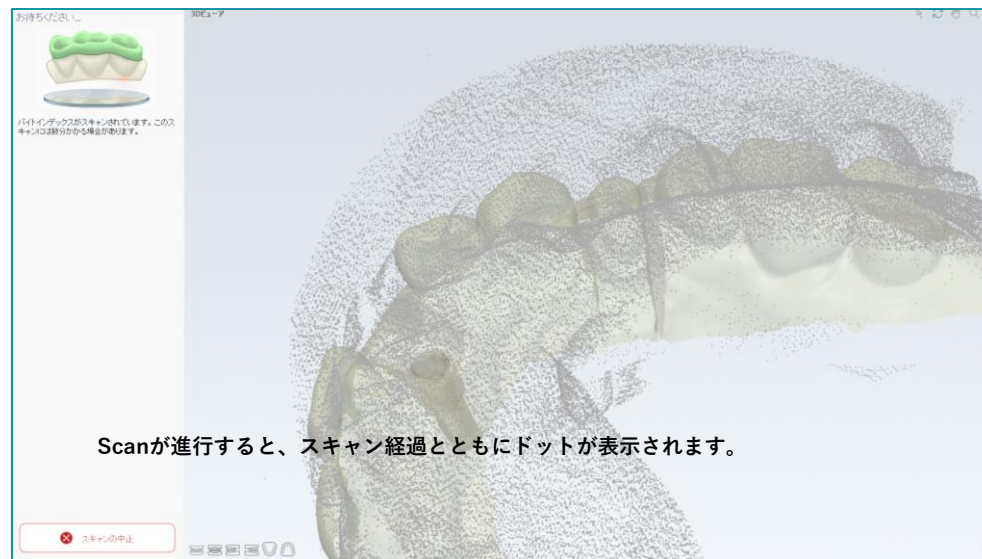


Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

バイトインディックスのスキャン



DTX Studio™ Lab 1.10

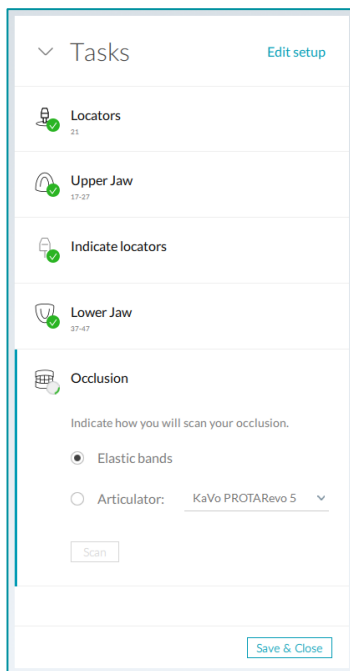


Kavo LS3 Scanner

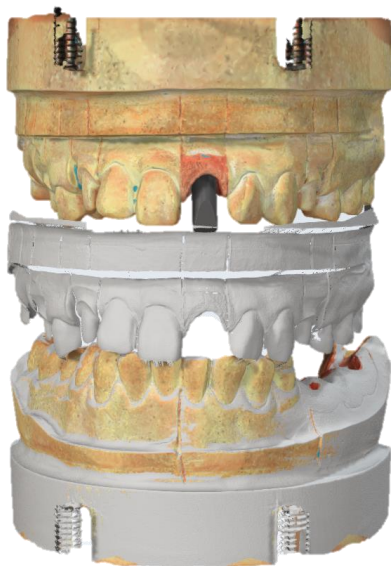
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Occlusion(咬合)項目のスキャン完了



Scan後、自動計算を行います



CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan

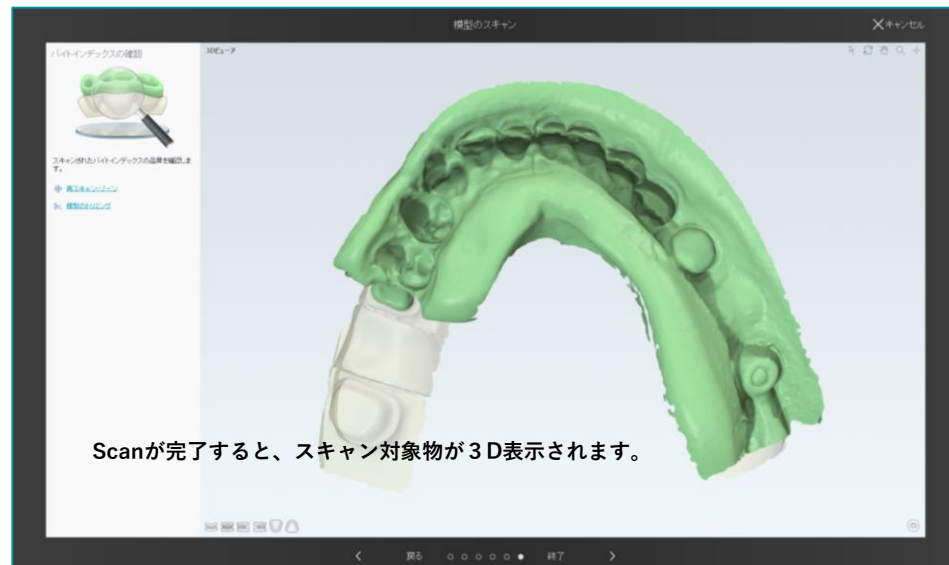


Genion 2 Scanner

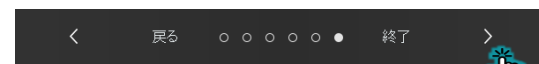
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

バイトインディックスのスキャン完了



Scanが終了したら、画面下の【>】を左クリックすると、スキャンが完了します。



DTX Studio™ Lab 1.10

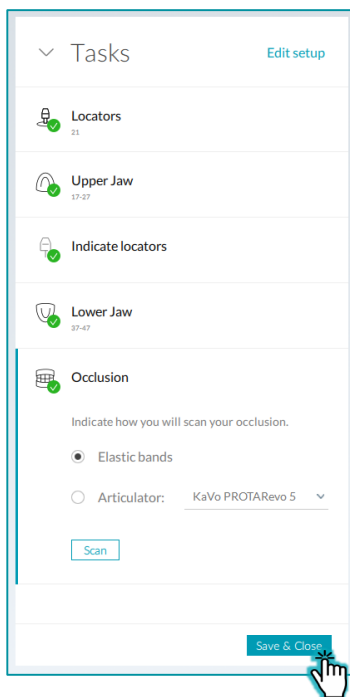


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

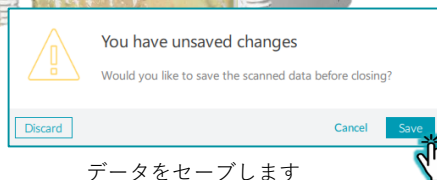
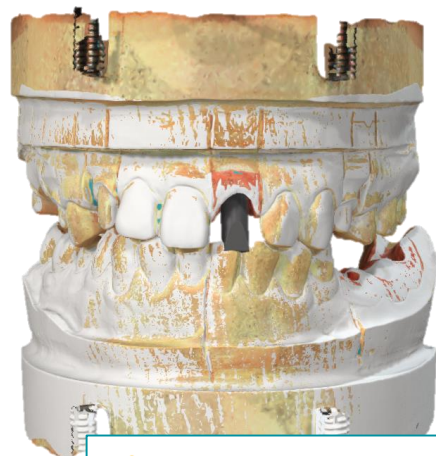
Scanを行います

Occlusion(咬合)項目のスキャン完了



上下額がマッチングしたらスキャン完了です。

【Tasks】の下部にある【Save & Close】をクリックし、データをセーブしてスキャンの全工程を終了します。



データをセーブします

CAD スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan

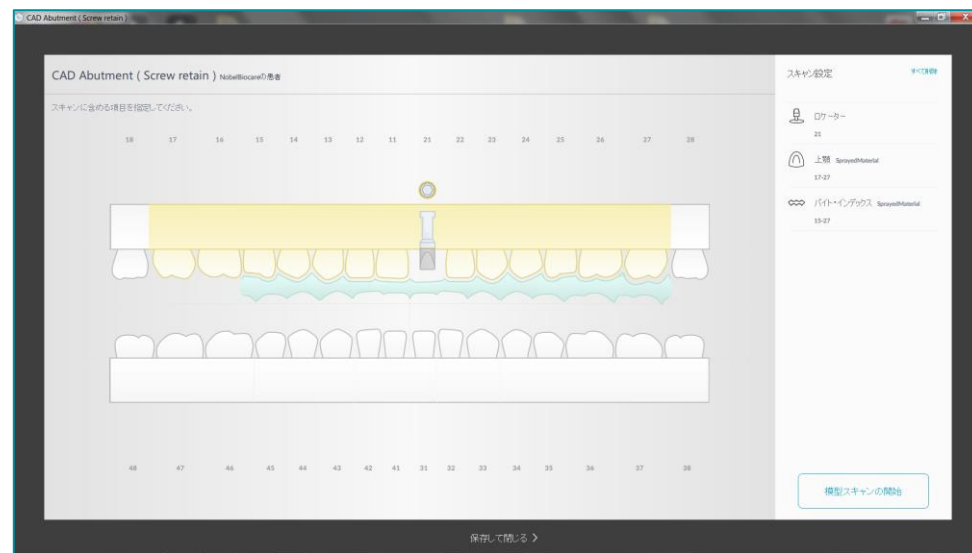


Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Scanの完了



Scanが終了したら、画面下の【保存して閉じる>】を左クリックし保存します



Scan

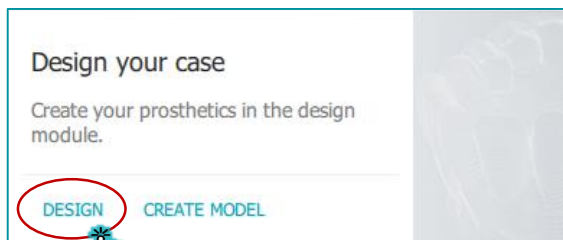


【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

スキャンを完了すると、DTX STUDIOプラットフォームにデザイン項目が表示されます。

【Design】をクリックし、デザイン画面を開きます



以下の項目に該当する場合は、デザインソフトが立ち上がりません

- ドングルがUSBポートに装着されていない
- ドングライセンスが切れている
- DTX STUDIO Labライセンスが更新されていない

CAD Abutment (Screw retain) Scanned
NobelBiocare Overdue

Scanが終了すると、ステータスが変わります

DTX Studio Lab

Find a case

2 cases found Sort by due date

CAD Abutment (Cement retain) NobelBiocare	Designed Overdue
CAD Abutment (Screw retain) NobelBiocare	Scanned 0 days left

CAD Abutment (Screw retain) - NobelBiocare DUE TODAY

Design your case
Create your prosthetics in the design module.
DESIGN CREATE MODEL

Model scan

Prescription form

Details Activity

Restoration details
Tooth 21 Screw retained crown: Zirconia Medium
Clinical Connection RP - Straight

Case details
Patient Case ID
Due date 16 5月 2019

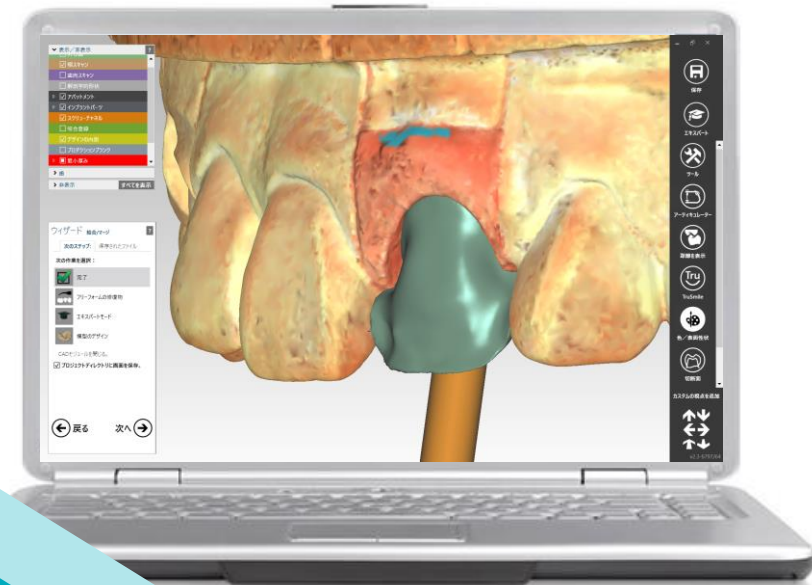
Clinician details
Requested by NobelBiocare

Notes

DTX STUDIO Labのプラットフォーム

CAD ・ Abutment / CAD ・ アバットメント

- Screw retain Abutment Design / スクリューリテイン アバットメント デザイン



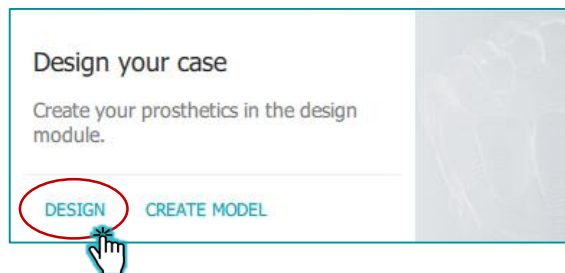


【新規デザインを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

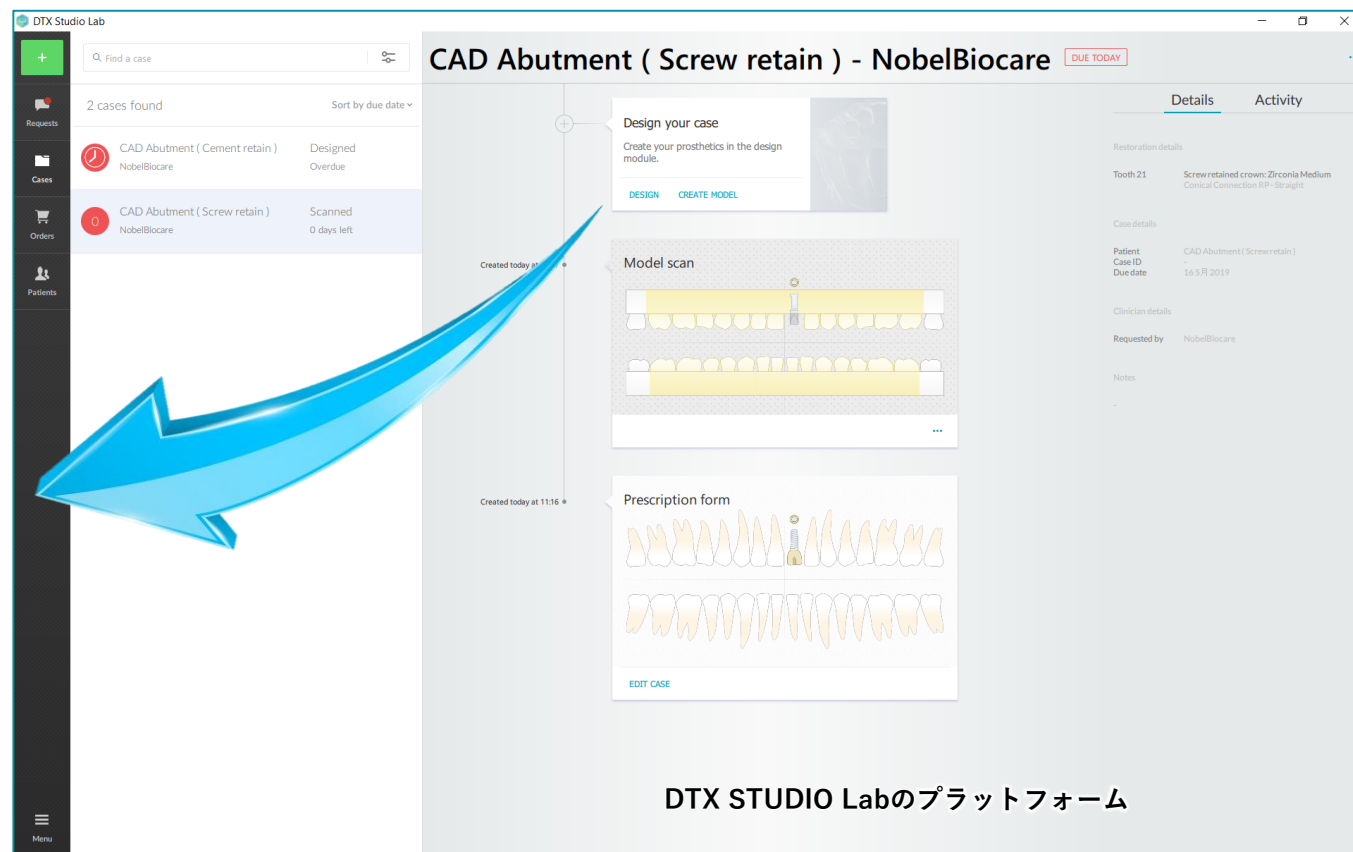
DTX STUDIOプラットフォームからデザインを開始します

【Design】をクリックし、デザイン画面を開きます



以下の項目に該当する場合は、
デザインソフトが立ち上がりません

- ドングルがUSBポートに装着されていない
- ドングライセンスが切れている
- DTX STUDIO Labライセンスが更新されていない



DTX STUDIO Labのプラットフォーム

DTX Studio™ Lab 1.10



【新規デザインを開始する】

デザインソフトの立ち上げ

【デザインソフトを立ち上げます】

DTX STUDIO Designのロゴが表示され別ウィンドウでデザイン画面が立ち上がります

途中ドングル・ライセンスの確認画面が表示されますので、【了解】をクリックし、デザイン画面を立ち上げます



マウスの操作

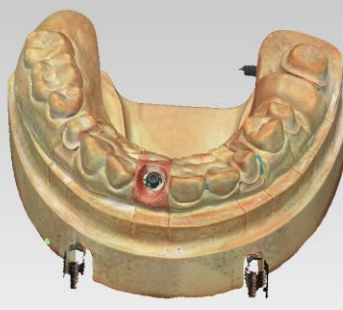


デザイン画面左上に、【表示/非表示】オブジェクトが表示されています。

各項目のボックスにチェックを入れると3Dが表示されます。また、各項目タイトルにカーソルを合わせると、ゲージが出現します。ゲージのつまみを左右に左ドラッグすると、3D表示の濃度を変更できます。



DTX STUDIO Labのデザインソフト画面



LS3 スキャナーでカラーキャンをした場合の表示



【カラー表示の切り替え】

LS3 スキャナーでカラーキャンをした場合、【色/表面性状】ボタンから、カラー/モノクロが切り替えられます。

*LS3 スキャナーでカラーキャンをした場合のみ



【新規デザインを開始する】

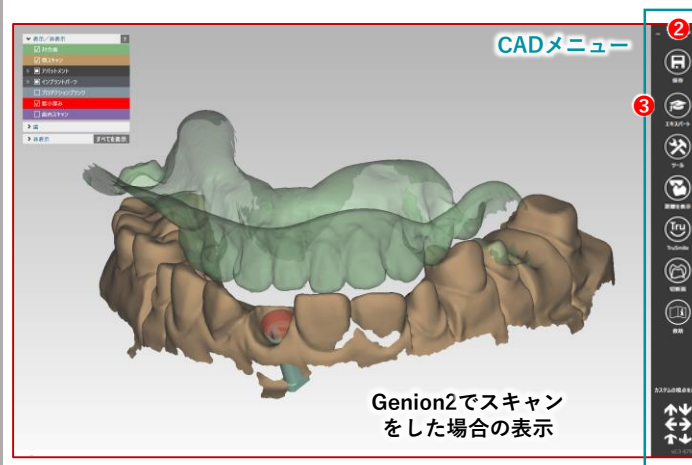
デザインの準備（穴埋め/削除）

【スキャンデータの調整をします】

【メッシュの編集】機能を使用し、余分なスキャンデータを切り取ります。

【メッシュの編集】機能は、修復する顎、対合歯、歯牙、バイトなど、様々なデータの不要箇所の切り取りや、スキャンできなかった部分の穴埋めを行うことができます

本項では、バイト・インディックスの編集を例に解説します。



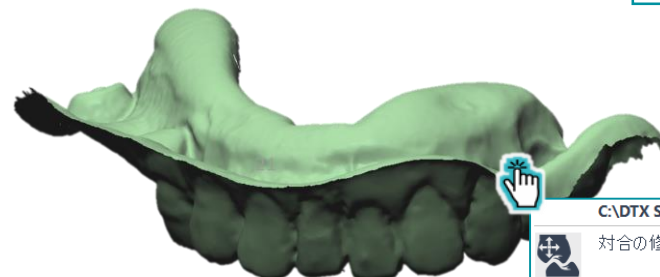
2 画面右にあるCADメニューから、3 【エキスパート】モードを左クリックで起動します。

3 エキスパート・モードを起動します

エキスパートモードを起動すると、アイコンがウィザードモードへ変わります。ウィザードモードに戻る際に使用します。

Genion2でスキャンをした場合の表示

右クリック：Context Menuの表示



対象のデータ上にカーソルを合わせ、右クリックを押します。

コンテキストメニューから【メッシュの編集】機能を選択します。





【新規デザインを開始する】

デザインの準備（穴埋め/削除）

【スキャンデータの調整をします】

【3Dデータエディター】機能を使用し、余分なスキャンデータの削除/穴埋めを行います。

選択された3Dデータは【黄色】に反転されます。

左クリック/左ドラッグで範囲を指定し、範囲を囲んで指定する機能の場合は、Wクリックで範囲指定します。

範囲選択

- ▶ **【透過で選択】**
表面や裏面、重なったデータを連続して範囲指定します。
- ▶ **【表面上で選択】**
画面の最表層に見えるデータのみを範囲指定します。
- ▶ **【表面をクリックして選択】**
連続したデータを1クリックで指定します。途切れているデータは指定されません。
- ▶ **【すべて】**
全てのデータを1クリックで選択します。
- ▶ **【なし】**
選択後、反転している指定箇所を全てリセットします。
- ▶ **【反転】**
選択範囲と、その他の箇所を逆転し指定範囲を反転します。

動作

- ▶ **【削除】**
範囲指定し、黄色くなった範囲を削除します。
- ▶ **【クロップ】**
範囲指定し、黄色くなった範囲以外を削除します。
- ▶ **【分割】**
範囲指定した部分が、連続したデータから分割されます。
- ▶ **【穴を閉じる】**
選択した範囲内にある空隙を埋めます。穴の外周全てがデータに囲まれている必要があります。
- ▶ **【元に戻す】**
ひとつ前の操作に戻します。
- ▶ **【やり直す】**
【元に戻す】操作で戻った操作を元に戻し(やり直し)ます。

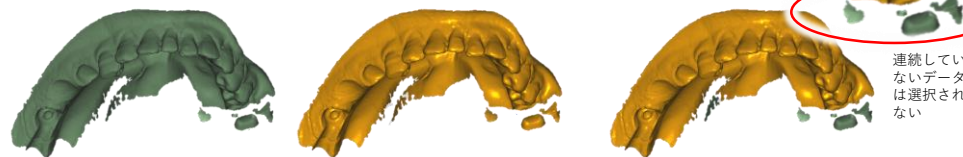
● 削除：左クリック/左ドラッグで範囲を指定

【範囲指定】 → 【範囲決定】 → 【反転】 → 【削除】



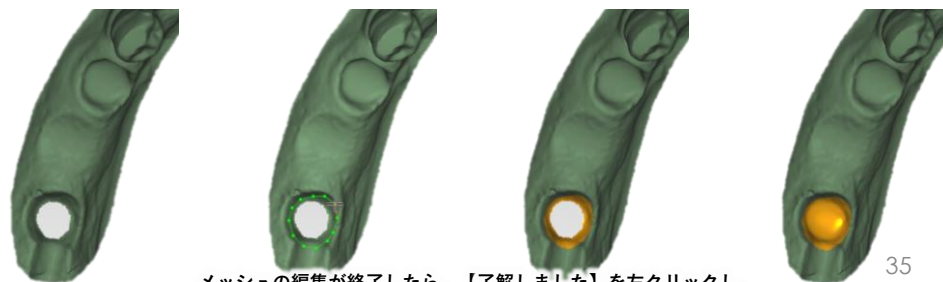
● 削除：1クリックで範囲を指定

【調整前】 → 【すべて】 → 【表面をクリックして選択】



● 穴埋め：左クリック/左ドラッグで範囲を指定

【調整前】 → 【範囲指定】 → 【範囲決定】 → 【穴を閉じる】



メッシュの編集が終了したら、【了解しました】を左クリックし、ウィザードモードに戻りデザインを再開します。

3Dデータエディター

完了するためにダブルクリックします。選択を解除する場合は、

透過で選択
 表面上で選択
 表面をクリックして選択

すべて なし 反転

動作

削除	クロップ
穴を閉じる	分割
元に戻す	やり直す
了解しました	キャンセル



【新規デザインを開始する】

アバットメントのマージン設定

【マージンラインを決定します】



1 ウィザード欄の【検出】タブから【ポイントの追加】を選択します。マージン相当部に左クリックで、4点ポイントを付与します。* 図1

ソフトウェアがマージンを自動検出します。* 図2

図1

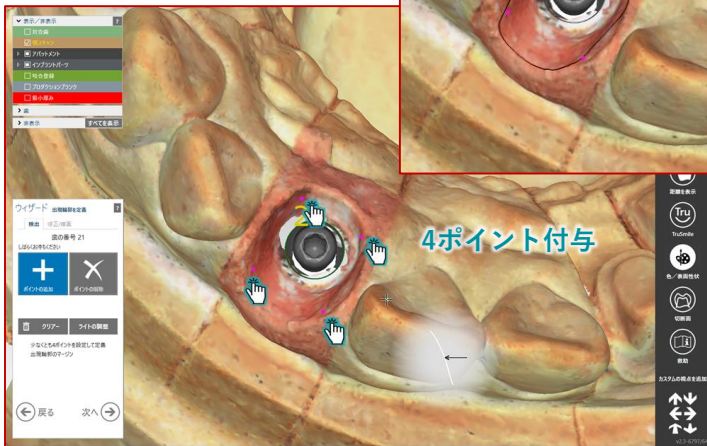
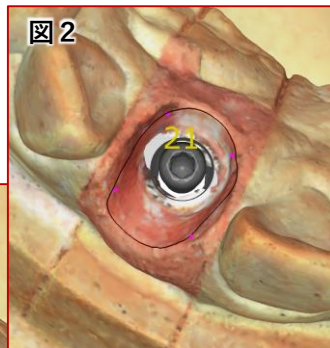


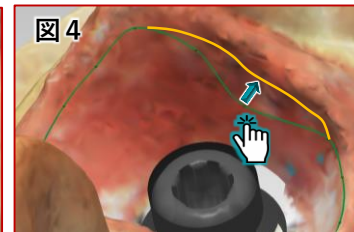
図2



2 自動検出にて設定されたマージンラインを修正するには、ウィザード欄の【修正/描画】タブから【移動】を選択します。

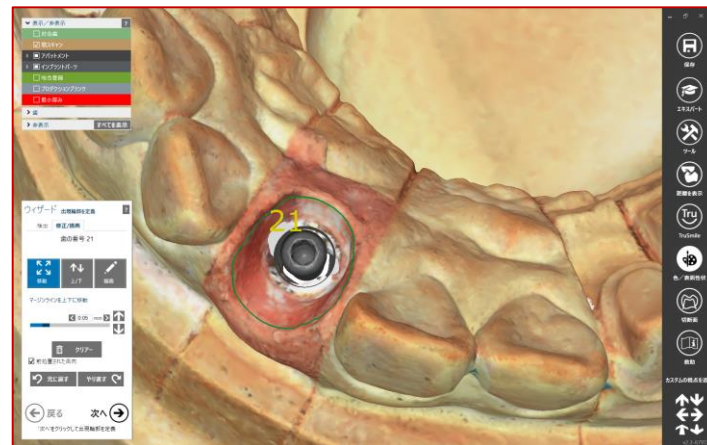
自動検出されたマージンラインがポイント付きの緑色へ変化します。
* 図3
ポイントを左ドラッグして、マージンを修正します。* 図4

3 設定が完了したら、[次へ] を左クリックしてマージンの設定を決定します



POINT

ポイントを追加するには左クリック、消去するには左ドラッグの状態ですら右クリックします。





【新規デザインを開始する】

歯牙データの挿入

【症例に合わせて、歯牙データを挿入します】



ウィザード欄の【選択】タブから挿入する歯牙のタイプを選択します。

【ライブラリーデータの使用】

・ソフトウェアのライブラリーデータを使用する場合は【次へ】をクリックし、次の項目で配置設計をします

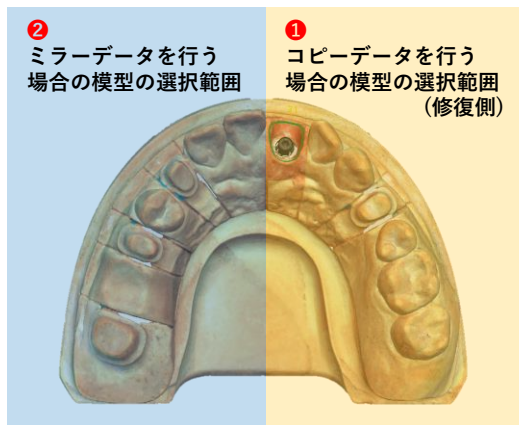
① 【コピーデータの使用】

・模型上の歯牙をコピーしてデザインを行う場合は、【コピー】を選択した後、コピーしたい模型の歯牙を左クリックで選択します。

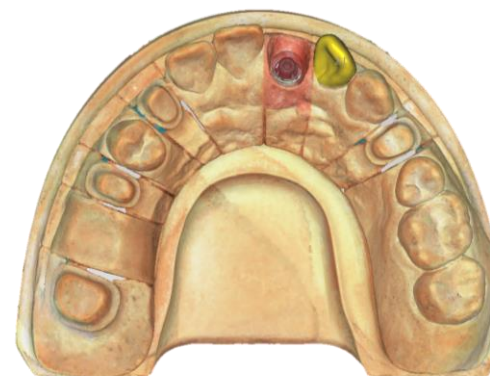
② 【ミラーデータの使用】

・模型データの反対側同名歯を反転コピーしたい場合は、②の【ミラー】を選択した後、模型の歯牙を左クリックで選択します。

③ 選択が終了したら、【次へ】を左クリックします。



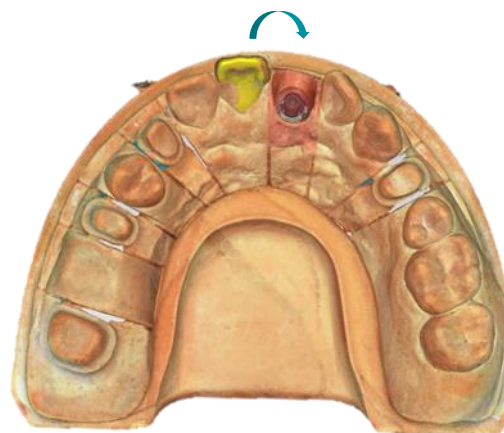
本項で使用している模型も場合



① コピーデータを使用した場合



【主に白歯部に使用】



② ミラーデータを使用した場合



【主に前・白歯部に使用】



【新規デザインを開始する】

歯牙の配置設定

【ウィザード各項目を使用し、歯牙を歯列へ配置を行います】

ウィザード 歯の配置

① シンプル ② チェーンモード ③

移動 回転 スケール

● 全方向
○ 近心/遠心方向のみ
○ 頬側/舌側方向のみ
○ 咬頭方向のみ
○ 近心/遠心 + 頬側/舌側

同時にすべてを移動

① コンテキストメニューを使用して変更する歯のタイプアリ。

元に戻す やり直す

戻る 次へ

移動 回転 スケール

① 左ドラッグで移動します

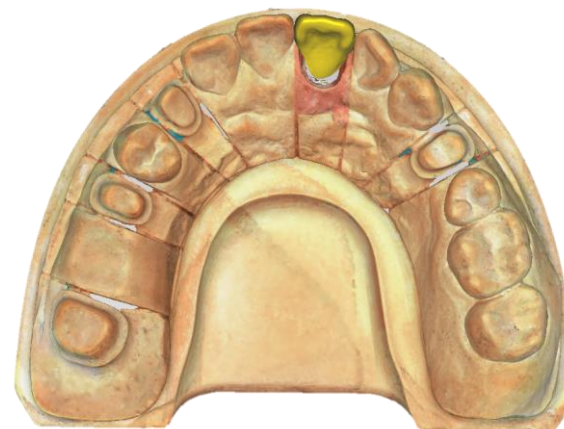
移動 回転 スケール

② 左ドラッグで回転します

移動 回転 スケール

③ 左ドラッグで拡大/縮小します

配置設定が終了したら、【次へ】を左クリックします。





【新規デザインを開始する】

サブジンジバル・カントウアのデザイン

【顎スキャンの表示を薄くし、歯肉貫通部を可視化します】

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

形状

1 トップアングル

2 ボトムアングル

3 以上

4

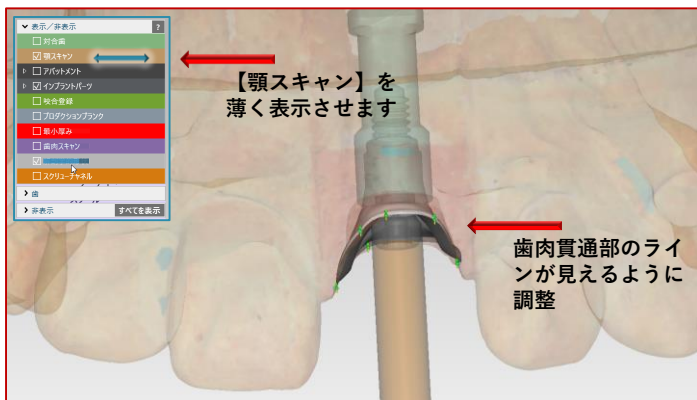
5 以下

6

マージンを上/下に移動
全方向に移動
マージン移動 イン/アウト
歯肉へ差し込む

元に戻す やり直す

戻る 次へ



ウィザード欄の【下部】タブの項目を使用し、アバットメントのプロファイルをデザインします。

歯肉貫通部の形状が見えやすいように、【表示/非表示】ウィンドウから【顎スキャン】を薄く表示させます

表示/非表示

対合歯

歯肉

解部

アバットメント

インプラントパーツ

スクリーチャネル

咬合登録

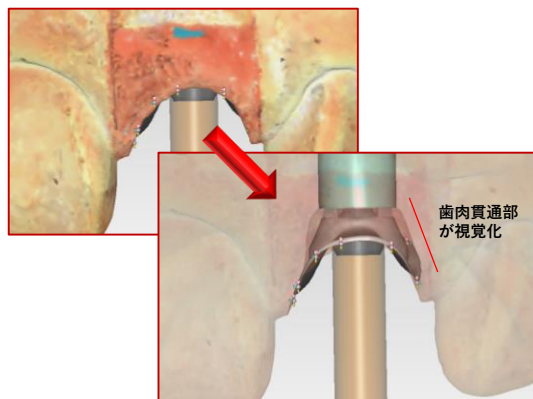
プロダクションプランク

最小厚み

歯

非表示

すべてを表示



【プロファイル形状を決定します】

形状

トップアングル 1

ボトムアングル 2

【形状】の項目を使用し、アバットメント・プロファイルのトップとボトムをデザインします。

ゲージをスライドさせると形状が変更されます

3 4

フリーフォーム 視覚化 リミット?

以上 0.2

5 以下 0.2

丸めを適用
コントロールキー 制御点を追加

フリーフォーム (Shiftキー)

0.2 -0.1 0 0.1 0.2

POINT

5 視覚化ゲージ 0.2 -0.1 0 0.1 0.2

ゲージをスライドさせると数値が変更

以上:
0から歯肉から離れていく方向の値

以下:
0から歯肉へ向かっていく方向の値

オリジナル:

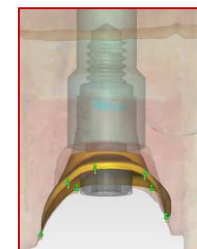
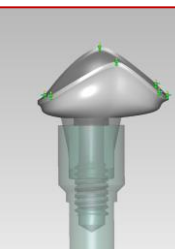
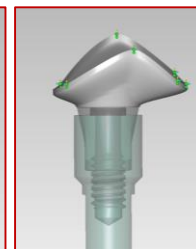
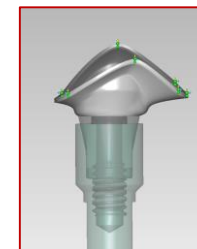
何もいじっていない状態

1 トップアングル

マージンライン付近の豊隆を調整

2 ボトムアングル

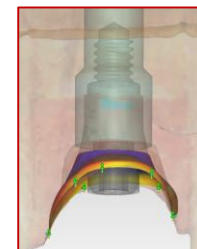
接合部付近の豊隆を調整



3 フリーフォーム

左ドラッグで自由変形を行う

ポリウムを増やしたい箇所にカーソルを合わせ、左クリック及び左ドラッグでポリウムを任意に増やすことができます。減らすときは【Shift】キーを押しながら左ドラッグをします



4 視覚化

歯肉内面との接触状態を色で表示します。

赤色: 歯肉へ強く接している状態
黄色: 歯肉へほぼピッタリと接している状態
青色: 歯肉へ接触していない状態

【視覚化】にチェックを入れると、視覚表示のゲージが有効化されステータスを変更することができます。



【新規デザインを開始する】

サブジンジバル・カントウアのデザイン

【プロファイル形状を決定します】

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

形状

トッパングル

ボトムアングル

フリーフォーム 視覚化 リミット?

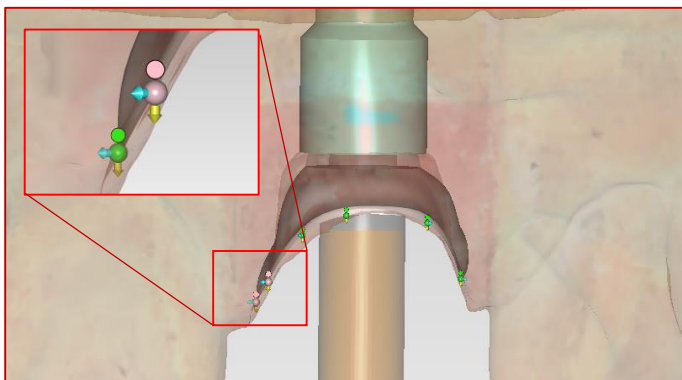
以上 0.2

以下 0.2

マージンを上/下に移動
全方向に移動
マージン移動 イン/アウト
歯肉へ差し込む

元に戻す やり直す

戻る 次へ

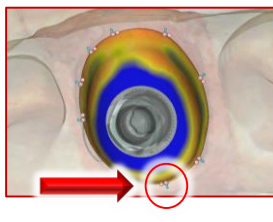
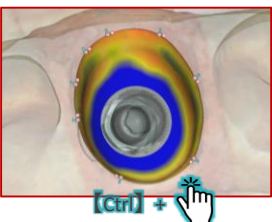


マージンを上/下に移動
全方向に移動
マージン移動 イン/アウト
歯肉へ差し込む

⑥ ウィザード欄の説明にあるように、ポイントとを左ドラッグで動かし、マージン位置を再設定することができます。

POINT マージンポイントの追加

マージンのポイントを追加する場合は、キーボードの【Ctrl】を押しながら左クリックをします。



【歯肉へ差し込む】をクリックすると切り替えができます

緑色のポイントは歯肉に沿って移動ができます

ピンク色のポイントは歯肉内へ差し込むことが可能です。

【アバットメント下部と上部デザインの境界の高さ設定】

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

***外観境界線/境界の輪郭

高さ 0.24 mm

半径 0 mm

インプラントより下を実行する

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

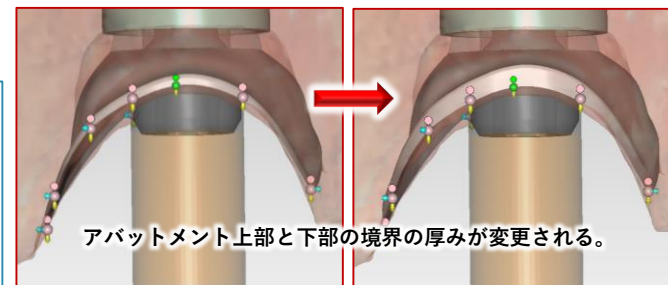
***外観境界線/境界の輪郭

高さ 0.5 mm

半径 0 mm

インプラントより下を実行する

ウィザード欄の【高度な】タブをクリックします。
【外観境界線/境界の輪郭】ゲージを調整しデザインを決定します



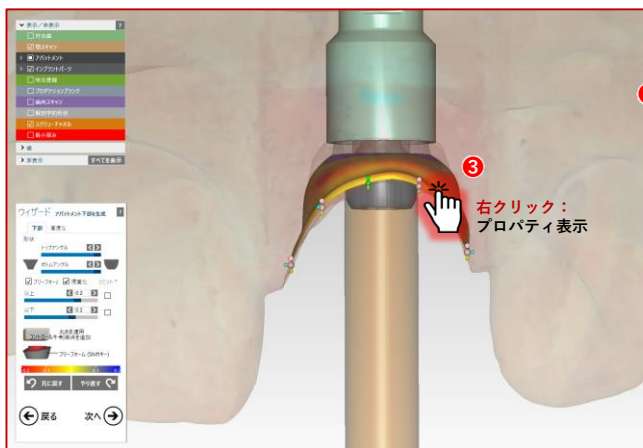
プロファイルデザインが終了したら、【次へ】を左クリックします。



【新規デザインを開始する】

サブジンジバル・カントウアのデザイン - アドバンスデザイン -

【プロフィール形状を自由にデザインする方法】



CADメニュー

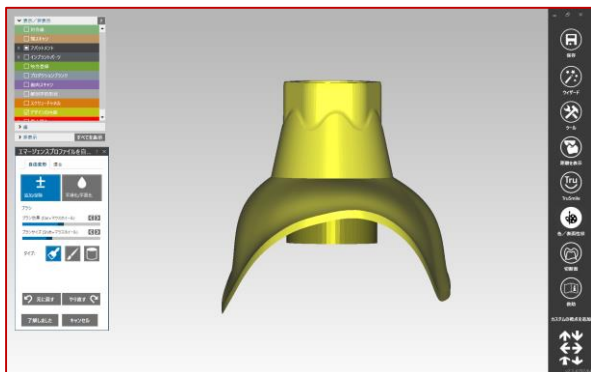
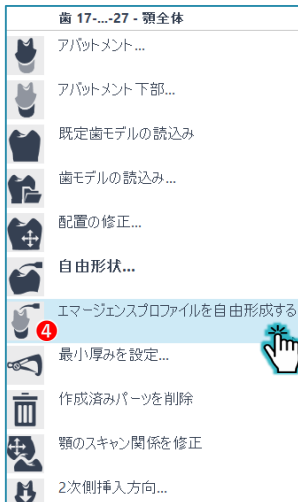
① 画面右にあるCADメニューから、②【エキスパート】モードを左クリックで起動します。

② エキスパート・モードを起動します

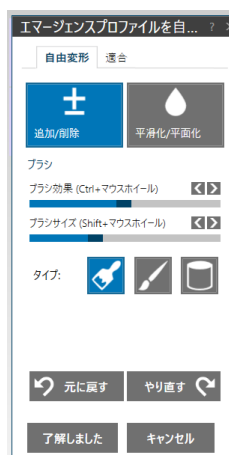
エキスパートモードを起動すると、アイコンがウィザードモードへ変わります。ウィザードモードに戻る際に使用します。

③ アバットメント上にカーソルを合わせ、右クリックで、【プロパティ】を表示します。(左図)

④ プロパティから【エマーゼンスプロフィールを自由形成する】を選択し、デザインを行います。



【プロフィール形状を自由にデザインする方法】



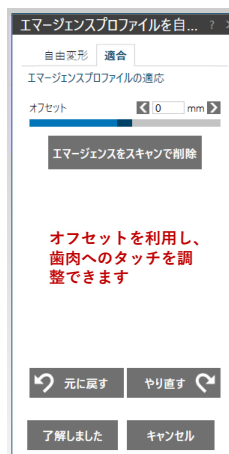
ウィンドウから【自由形状】タブを選択し、【追加/削除】【平滑化/平面化】コマンドから自由にデザインを行います。

自由形状の操作方法につきましては、【歯冠形態のデザイン】の項を参照



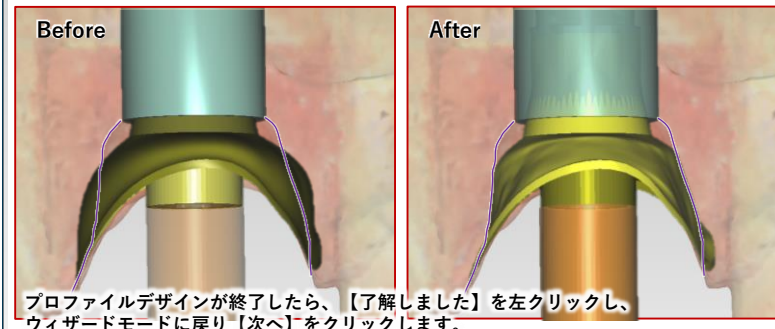
プロフィールデザインが終了したら、【了解しました】を左クリックし、ウィザードモードに戻り【次へ】をクリックします。

【プロフィール形状を歯肉に合わせる方法】



ウィンドウから【適合】タブを選択し、【エマーゼンスをスキャンで削除】ボタンをクリックすると、歯肉に適応します。

元々のデザインが、歯肉内面に触れていない場合は、歯肉へ適応しませんので、十分にデータ量に厚みを持たせておくことがポイントです。また、オフセットで歯肉の圧排調整も可能です



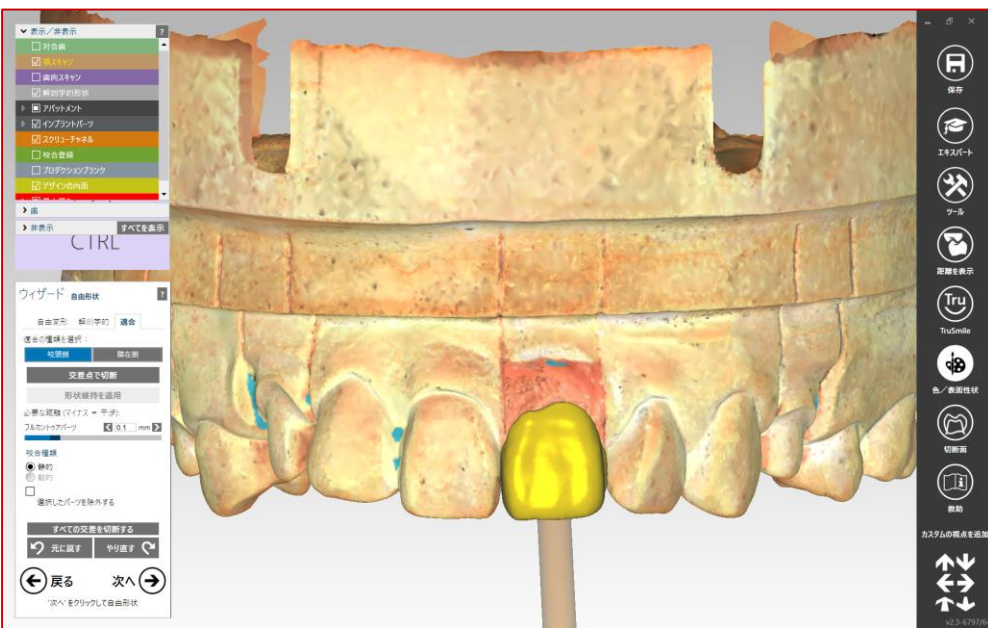
プロフィールデザインが終了したら、【了解しました】を左クリックし、ウィザードモードに戻り【次へ】をクリックします。



【新規デザインを開始する】

歯冠形態のデザイン

【自由形状をデザインします】 - クラウン -



ウィザード欄の

- ① 【自由変形】
- ② 【解剖学的】
- ③ 【適合】

タブ内の項目を使用し、歯冠形態をデザインしていきます



【解剖学的特徴のデザインを行います】 - クラウン -



ウィザード欄の【解剖学的】タブをクリックします。
【咬頭】【歯のパーツ】【歯全体】【隆線】の項目から、症例に合わせて歯冠データを調整します

① 【咬頭】

咬頭部(または一部分)の形態を変更できます

② 【歯のパーツ】

歯のブロック(近心、遠心、頬側、舌側)部分の形態を変更できます

③ 【歯全体】

歯全体の位置を動かす変更ができます
根尖側を軸にあらゆる方向に移動できます

④ 【隆線】

隆線部(または一部分)部分の形態を変更できます

POINT 形状変形

左クリックでツマミ、左ドラッグで変形させます。



【新規デザインを開始する】

歯冠形態のデザイン

【自由変形のデザインを行います】 - クラウン -

ウィザード 自由形状

自由変形 解剖学的 適合

1 追加/削除 2 平滑化/平面化

ブラシ

3 ブラシ効果 (Ctrl+マウスホイール) <>

4 ブラシサイズ (Shift+マウスホイール) <>

タイプ: 5 6 7

すべての交差を切断する

元に戻す やり直す

戻る 次へ

*次へをクリックして自由形状

ウィザード欄の【自由変形】タブをクリックします。
【追加/削除】 **【平滑化/平面化】** **【ブラシ効果】** **【ブラシサイズ】**
【タイプ】 の項目から、症例に合わせクラウンのデザインを行います。

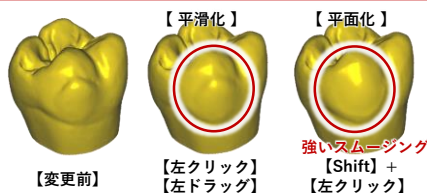
1 【追加/削除】

【左クリック&ドラッグ】でデータを追加できます。データを減らす場合は【Shift】+【左クリックorドラッグ】で削除できます



2 【平滑化/平面化】

【左クリック&ドラッグ】でデータを平滑できます。強スムージングの場合は【Shift】+【左クリックorドラッグ】で実行します。



3 【ブラシ効果】

データの追加/削除量を変更します
 ゲージの右側が強くなり、カーソルの色が濃くなります

4 【ブラシサイズ】

データの追加/削除範囲を変更します
 ゲージの右側が強くなり、カーソルの範囲が変更します

5 6 7 【ブラスタイプ】

- 5 デフォルト：ハケタイプのブラシで範囲が大きいのが特徴
- 6 ナイフポイント：非常に小さい範囲設定が可能で咬合面の溝形成向き
- 7 シリンダー：円柱状のデータ構築が可能で、ノブやハンドル形成向き

【適合のデザインを行います】 - クラウン -

ウィザード 自由形状

自由変形 解剖学的 適合

適合の種類を選択:

1 咬頭側 2 隣在側

交差点で切断

形状維持の適用

必要な距離 (マイナス = 干渉):

隣在歯 < 0.1 mm >

ディスカッター

隣接の接触部分をブロックアウトする

隣接歯に向かって横向きに引っ張る

選択したパーツを除外する

すべての交差を切断する

元に戻す やり直す

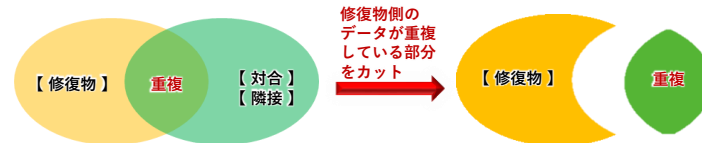
戻る 次へ

*次へをクリックして自由形状

ウィザード欄の【適合】タブをクリックします。
 表示された項目から、データ同士が重複している(咬合及び隣接)部分のデータをカットします。
 (製作するプロダクトにより表示が異なってきます)

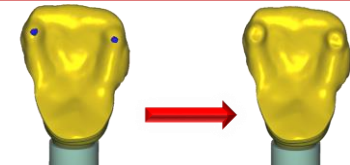
交差点で切断 交差点で切断ボタンでデータを切り取ります

形状維持の適用 形状維持の適用ボタンでデータを維持します



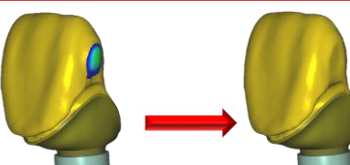
1 【咬頭側】

対合歯と交差している部分のデータを削除します



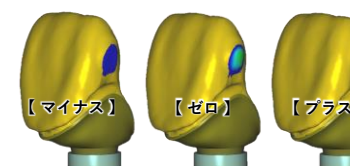
2 【隣在側】

隣接歯や模型部分と交差しているデータを削除します



3 【必要な距離】

データの交差量を調整します
 マイナス：干渉
 プラス：空隙



右図の距離(-0.1mm、0mm、0.1mm)

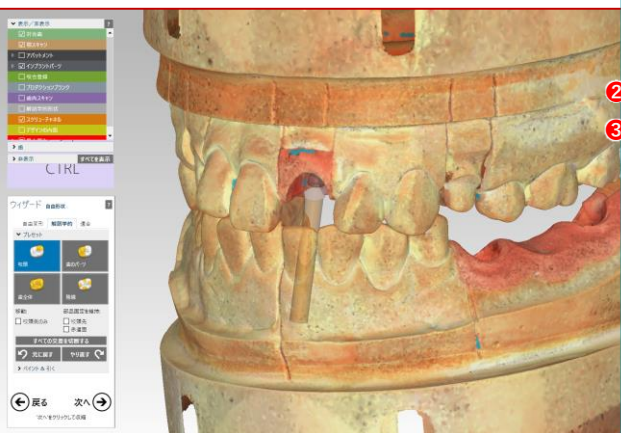
デザインが終了したら、【次へ】を左クリックします。



【新規デザインを開始する】

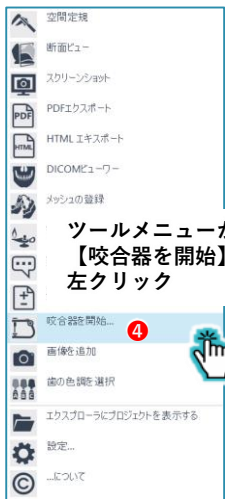
咬合器の開始

【咬合器を設定します】

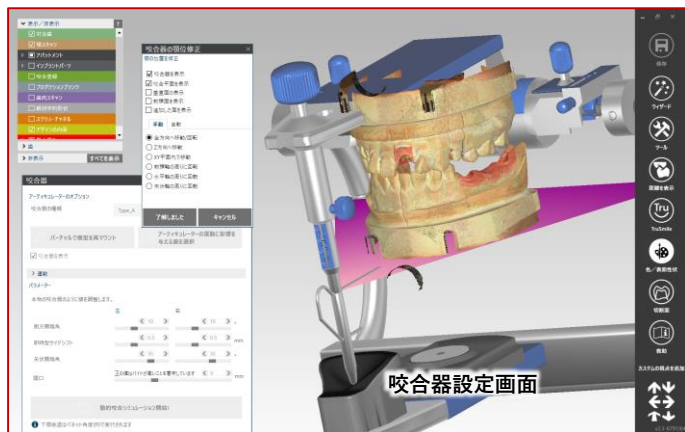


CADメニュー

- ① 画面右にあるCADメニューから、②【エキスパート】モードを左クリックで起動します。次いで、③【ツール】を左クリックし、④【咬合器を開始】を左クリックします。
- ② エキスパート・モードを起動します
- ③ ソフトウェアの各種ツール機能が格納されています
- エキスパートモードを起動すると、アイコンがウィザードモードへ変わります。ウィザードモードに戻る際に使用します。



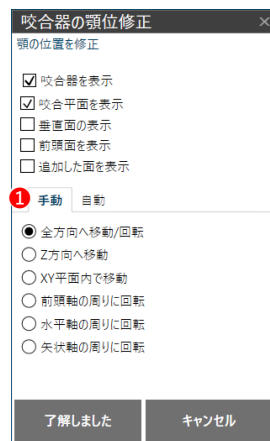
ツールメニューから【咬合器を開始】を左クリック



咬合器設定画面

【咬合器に模型を配置する】

咬合器の顎位修正ウィンドウから、①【手動】および、②【自動】タブをクリックし、各項目から模型を配置し【了解しました】ボタンを押すと、模型が咬合器に装着されます。



① 【手動】

項目を選択し、左ドラッグで模型を移動させ、咬合器に配置します。

- 全方向へ移動/回転：左ドラッグで移動 / Ctrl + 左ドラッグで回転します
- Z方向へ移動：模型が上下に移動します
- XY平面内で移動：模型が前後左右に移動します
- 前頭軸の周りに回転：咬合面観から模型が回転します
- 水平軸の周りに回転：側方面観から模型が回転します
- 矢状軸の周りに回転：正面観から模型が回転します



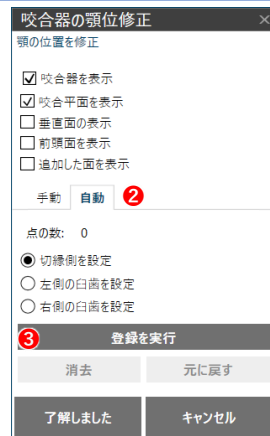
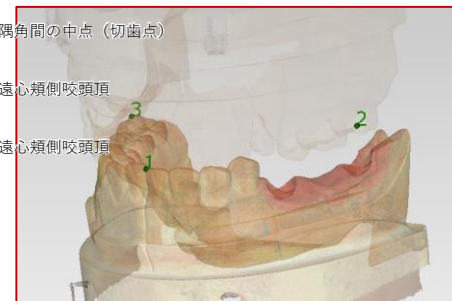
② 【自動】

項目で指定されている模型データ上の部位へ、ポイントを置き自動で配置します。咬合器に表示されている咬合平面が基準となる配置方法です。

- 1. 切縁側を設定：下顎左右中切歯の近心隅角間の中点（切歯点）
- 2. 左側の臼歯部：下顎左側第二大臼歯の遠心頬側咬頭頂
- 3. 右側の臼歯部：下顎右側第二大臼歯の遠心頬側咬頭頂

③ 【登録を実行】

【登録を実行】ボタンを押すと咬合器へ自動配置します





【新規デザインを開始する】

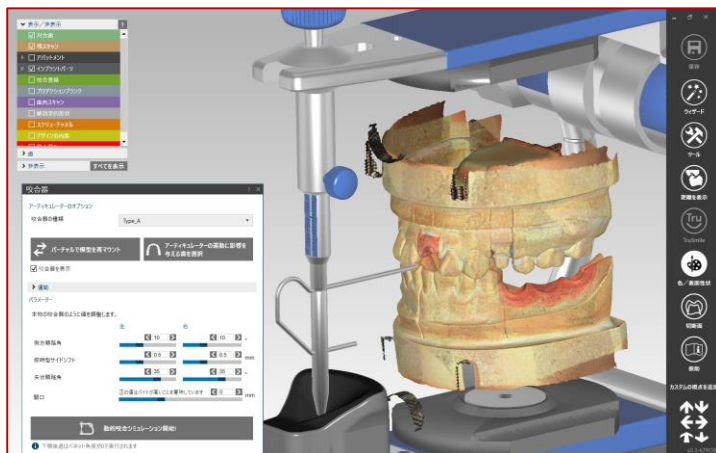
咬合器の開始

【咬合器を選択/調整/開始します】

咬合器へ模型装着完了後、
【咬合器】の各項目から、

咬合器の種類、
再マウント、
顎運動の歯牙設定、
咬合器パラメータ設定、
咬合器開始

を調整します。



【咬合器を選択/調整/開始します】

3 アーティキュレーターの運動に影響を与える歯を選択 顎運動に関連する歯牙の選択

ウィンドウから、【ブラシを用いて】または、【歯牙を用いて】タブのどちらかを選択し、顎運動に影響する歯牙を選択します。(このステップを省略した場合は、咬合器の運動が適応されます)



【除外するためにパーツに色を付ける】ボタンを選択し、ブラシで歯牙に色を塗っていきます。

終了したら、ウィンドウ下部の【了解しました】ボタンで決定します。



【クリックして歯をマークする】ボタンを選択し、歯牙を左クリックで選択します。

【部分的に】にチェックすると、選択した歯牙に色が塗られます
【完成】にチェックすると顎全体に色が塗られます。

終了したら、ウィンドウ下部の【了解しました】ボタンで決定します。



咬合器

各項目を選択し、咬合器を選択/調整/開始します。

- 1 咬合器の種類：
全11種から選択します
- 2 パーチャルで模型を再マウント：
前項で設定したマウントを再調整します
- 3 咬合器の運動に影響を与える歯の選択：
顎運動に関連する歯牙の指定をします
- 4 咬合器のパラメータ調整：
咬合器の詳細設定を行います。
- 5 動的咬合シミュレーション開始：
設定したパラメータで咬合器機能を開始します





【新規デザインを開始する】

咬合器の開始

【咬合器を選択/調整/開始します】

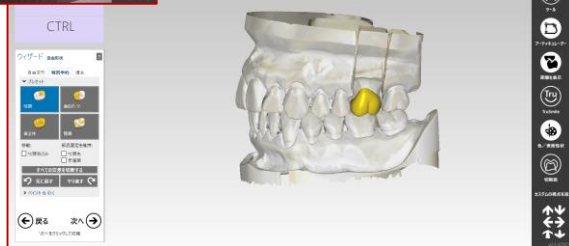
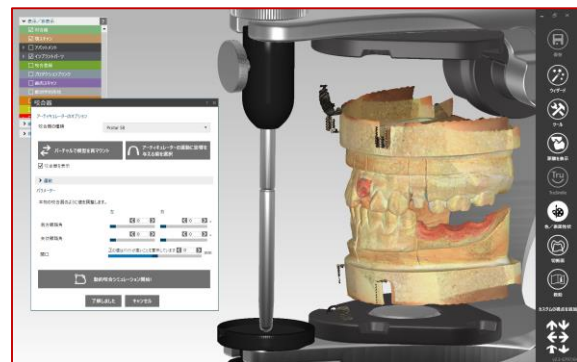
5 動的咬合シミュレーション開始! 咬合器を開始します

5 【動的咬合シミュレーション開始!】 ボタンを左クリック後、咬合器が動き顎運動を開始します。動作が終了したら、【了解しました】 ボタンを左クリックし、デザインを再開します。(デザインを再開すると、咬合器の表示は消えます。)

デザインを再開するには、【エキスパート・モード】から【ウィザード・モード】に切替えます。CADメニューから、【ウィザード】 ボタンをクリックし、【ウィザード・モード】に変更します。



【ウィザード】 ボタンをクリックし、【ウィザード・モード】に変更します。

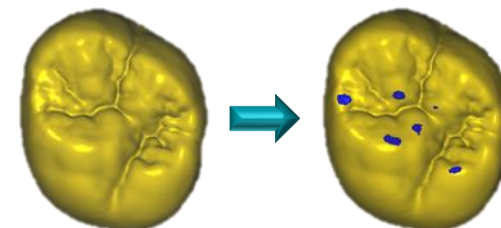


メニューバーの【アーティキュレーター】アイコンが白塗りに変更し咬合器が開始されます。



【顎運動の開始】

CADメニューの【距離を表示】 ボタンを有効化します。アイコンが白塗りに変更します。



デザインするクラウンに対合情報が表示され、画面上部に接触距離ゲージが表示されます

接触距離ゲージ



咬合器が開始されると画面右上に、顎運動コントロールパネルが表示されます。動かしたい項目にチェックを入れ、ゲージを動かすと咬合器が動きます

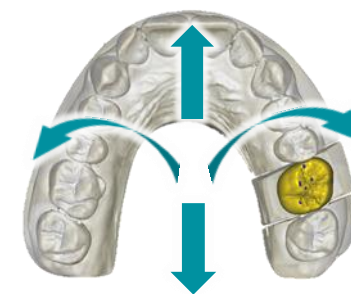
顎運動の繰り返し

下顎前方運動 下顎後方運動
 左側方運動 右側方運動

顎を動かすためにスライダーをドラッグ

動かせる顎運動

- 下顎前方運動
- 下顎後方運動
- 左側方運動
- 右側方運動



顎運動は実際の咬合器と同様、上顎が動きます



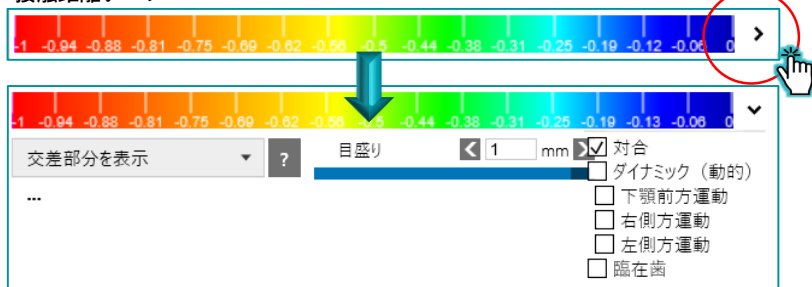
【新規デザインを開始する】

咬合器の開始

【顎運動の開始】

画面の上部に表示されている、接触距離ゲージの右側に配置されている【>】マークをクリックし、顎運動を効率的に調整することができます。

接触距離ゲージ



表示された、顎運動のオプション画面から咬合を調整します。

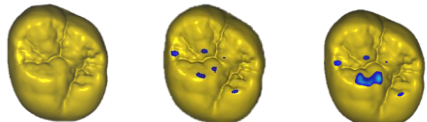
・ゲージの目盛りを調整し、視覚化の情報をコントロールできます。

・各運動路の接触経路を表示します

- 対合 : 中心咬合位のコンタクトポイントを表示します。
- ダイナミック : 全方向運動時の接触経路を表示します
- 下顎前方運動 : 下顎前方運動時の接触経路を表示します
- 下顎後方運動 : 下顎後方運動時の接触経路を表示します
- 右側方運動 : 下顎右側方運動時の接触経路を表示します
- 左側方運動 : 下顎左側方運動時の接触経路を表示します
- 隣在歯 : 隣在歯との接触点を表示します

咬合接触点

【非表示】 【咬合】 【ダイナミック】



咬合接触点

【非表示】 【隣接接触面】



【顎運動の開始】

接触距離ゲージのオプションから、右図の【▼】を左クリックし、プルダウンを表示させます。拡張表示させたい接触範囲を指定し、視覚表示を拡張させることができます。

接触範囲拡張オプション

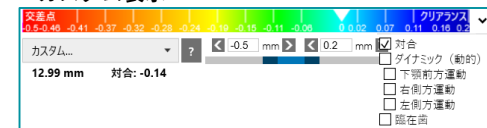
- ① 交差部分を表示 : データの交差している部分を視覚表示します。
- ② 近接部分を表示 : 接触点周囲の対合と近接している部分を視覚表示します。
- ③ カスタム : 表示された調整ゲージで、交差/近接範囲を変更することができます。
- ④ 隣在歯/正常歯を含む : 隣在歯や歯列の咬合接触点を視覚表示します。



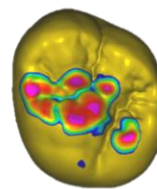
交差部分を表示

- ① 交差部分を表示
- ② 近接部分を表示
- ③ カスタム...
- ④ 隣在歯/正常歯を含む

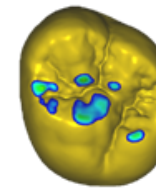
カスタム表示



【近接部分を表示】



【カスタム】



【隣在歯/正常歯を含む】



設定が完了したら、クラウンのデザインを行います



【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします

【カットバックフレームをデザインします】

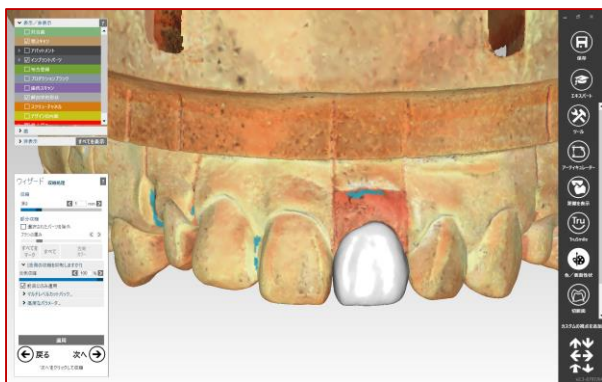
ウィザード 収縮処理

- 1 収縮
深さ mm
- 2 部分収縮
 選択されたパーツを除外
ブラシの厚み
すべてをマーク
すべて 舌側カラー
- 3 [舌側の収縮を抑制しますか?]
舌側収縮 %
 前歯にのみ適用
- 4 > マルチレベルカットバック...
- 5 > 高度なパラメータ...

適用

戻る 次へ

*次をクリックして収縮



- 1 【収縮】：カットバック量を調整します。(深さ：0～5mm)
- 2 【部分収縮】：部分的なカットバックフレームのデザインをします。ブラシを使用し、クラウンにデザイン(色塗り)を行います。色が塗られた箇所以外がカットバックされます。
 - ・すべてをマーク：クラウン全体を選択します。
 - ・すべて：マークされた部分をクリアします。
 - ・舌側カラー：舌側カラーを設定します。
- 3 【舌側の収縮を抑制しますか?】：舌側の収縮量調整をします。
 - ・0：カットバックしません
 - ・100：1の【収縮】深さに準じカットバックします。
 - ・【前歯部のみ】にチェックを入れると、臼歯部へは適応しません。
- 4 【マルチレベルカットバック】：同一箇所カットバックが複数回できます。
- 5 【高度なパラメータ】：最小厚みの設定 (in Lab milling のみ)
- 6 【適応】：1～4のステータス設定後、適応ボタンでカットバックします。

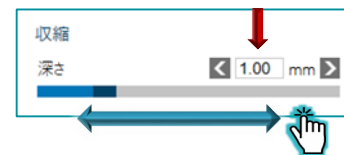
【フルカットバック】

クラウン全体をカットバックする場合

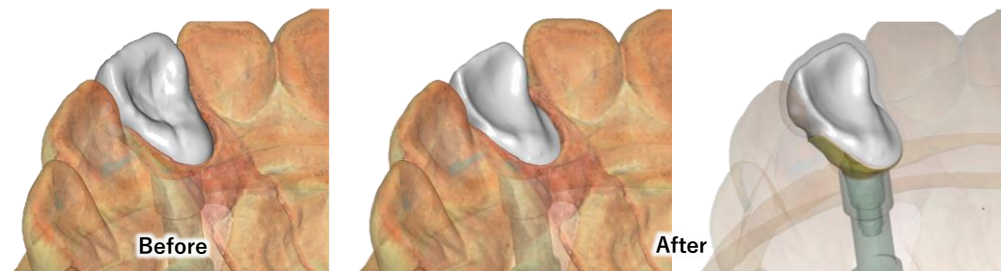
Step :

1. 1 【収縮】の深さを設定します。
2. 6 【適用】をクリックします。
3. カットバックされます。

1 値の入力もしくは、ゲージ調整



クラウンデザイン最外形から、修復深さ設定値でカットバックされます



POINT カットバックの表示

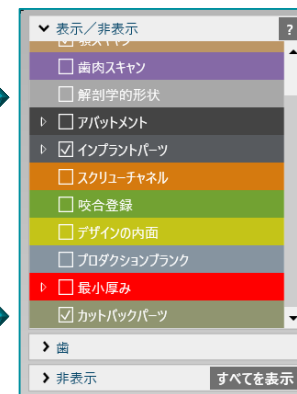
【カットバックが表示されない!!】

カットバックを行っても、3D画像に変化が見られない場合があります。

その場合は、【表示/非表示】オブジェクト内の、【解剖学的形状】のチェックを外し、【カットバックパーツ】のチェックを入れます。

【解剖学的形状】のチェックを外す

【カットバックパーツ】をチェックする



POINT カットバック

1の【収縮】の深さを0mmにして、【次へ】を左クリックすると、カットバックなしで、次の項目に進みます。

フルクラウンタイプに使用できます



【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします

【パーシャルカットバック】



クラウンを部分的にカットバックする場合

Step :

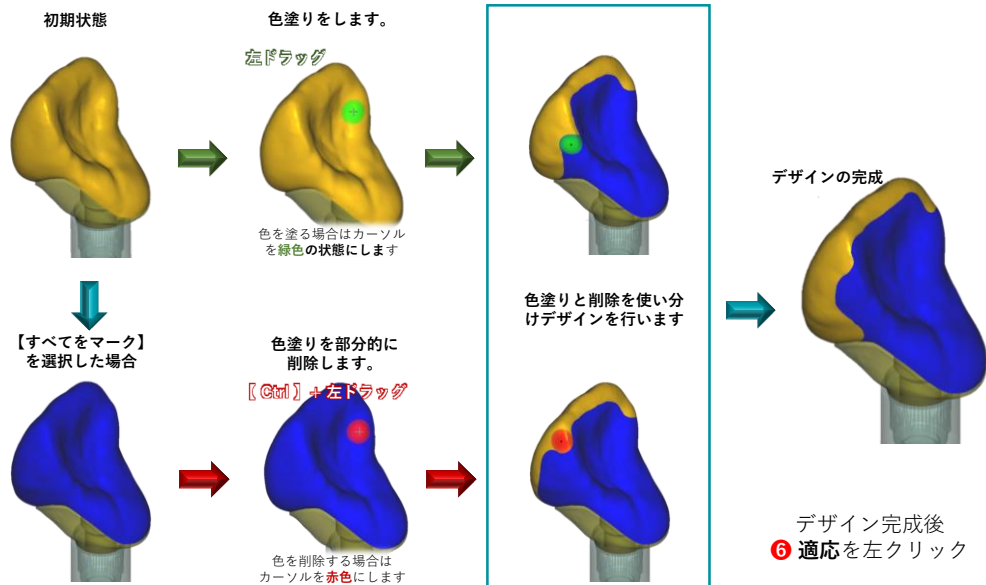
1. ①【収縮】の深さを設定します。
2. ②【部分収縮】の【**選択された部分を除外**】にチェックをいれ、ブラシ範囲ゲージを調整後、3Dに直接色を塗ります。(適宜、**すべてをマーク・すべて・舌側カラー**を選択します。)
3. ⑥ デザイン終了後【適用】をクリックします。
4. カットバックされます。

【部分収縮】

ブラシを使用し、クラウンにデザイン(色塗り)を行います。
色が塗られた箇所以外がカットバックされます。
 ・すべてをマーク：クラウン全体に青色が塗られます。
 【Shift】+左ドラッグで色を消し、デザインをします。
 ・すべて：青色に塗られ、マークされた部分をクリアします。
 ・舌側カラー：舌側カラーを設定します。
 【自動選択】ウィンドウが表示され、舌側カラーの高さと範囲が選択できます。(図1)
 【周りをすべて選択】：クラウン全周にカラーが付きます。
 【舌側パーツを選択】：クラウン舌側にカラーが付きます。

【パーシャルカットバック】

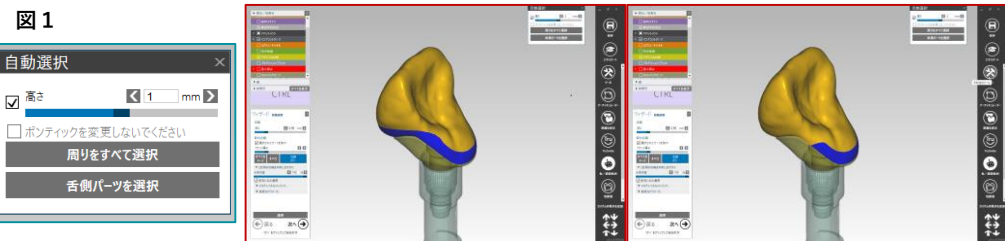
フリー・デザイン



リングル・カラーの設定

【周りをすべて選択】

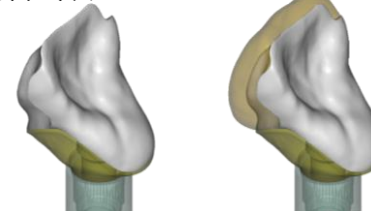
【舌側パーツを選択】



カットバックフレームの完成

カットバックフレーム

カットバック量の確認





【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします

【パーシャルカットバック】



【舌側収縮の抑止機能】

舌側一定範囲のカットバック機能

Step :

1. ①【収縮】の深さを設定します。
2. ③【舌側収縮を抑止しますか?】項目の舌側収縮ゲージを調整し、舌側部のカットバック量を調整します。(0~100%)
 - 0: 舌側部はカットバックしません。舌側以外は①の深さに準じてカットバックします。
 - 50: ①の深さ量の50%カットバックします。
 - 100: ①の深さ量に準じて100%カットバックします。

【前歯にのみ適用】にチェックを入れると、白歯部には適用されず、前歯部のみ適用されます。

チェックを外すと、白歯部にも適用します。(*図1)

3. ⑥ デザイン終了後【適用】をクリックします。
4. カットバックされます。

【舌側パーツを選択】

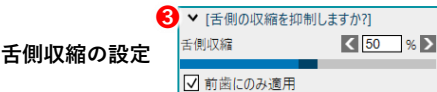
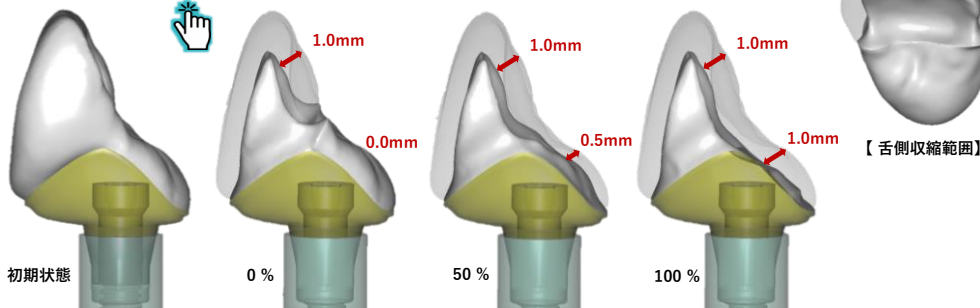


図1



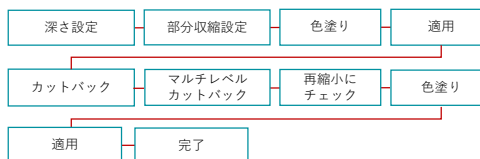
CAD スクリューリテイン アバットメントデザイン

【パーシャルカットバック】

【マルチレベルカットバック】

複数回のカットバック操作

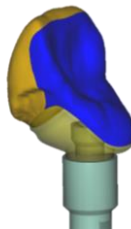
例) 前歯部唇側側、ボディ部と切端部でカットバック量をパーシャルカットバックで変えたい場合
ボディ部 : 0.5mm
切端部 : 1.0mm



1. 設定
・深さ
・部分収縮



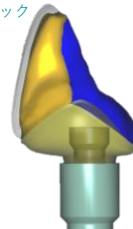
2. デザイン
・色塗り



3. カットバック
・適用



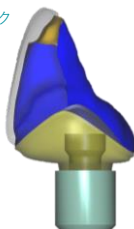
4. マルチレベル
カットバック
・再縮小に
チェック



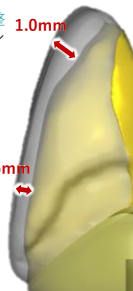
5. 追加デザイン
・色塗り



6. カットバック
・適用



自由形状で調整
・最終デザイン



デザインが完了したら、【次へ】をクリックします。

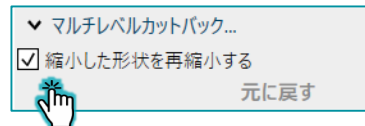


図2

Step :

1. ①【収縮】の深さを設定します。(例0.5mm)にチェックをいれ、ブラシ範囲ゲージを調整後、3Dに直接色を塗ります。
2. ②【部分収縮】の【選択されたパーツを除外】にチェックをいれ、ブラシ範囲ゲージを調整後、3Dに直接色を塗ります。
3. 【適用】をクリックしカットバックさせます。
4. ④【マルチレベルカットバック】をクリックし【縮小した形状を再縮小】にチェック (*図2) 最初のカットバックが残された状態で色塗りが可能になります
6. ②部分収縮で再度色塗りを実行
7. 【適用】をクリックすると、重ねてカットバックされます。

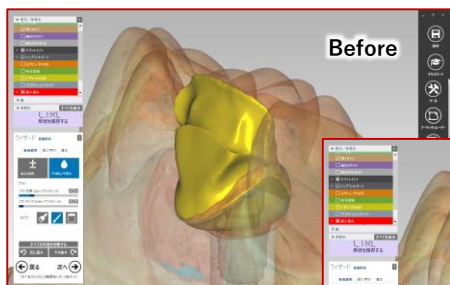
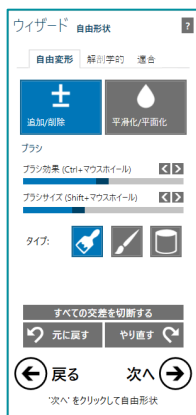


【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします
デザインの結合・完了

【フリーフォームデザイン】

クラウンの外形デザイン同様の操作で、カットバックフレームの自由変形デザインが可能です。必要に応じてデザインを行います。

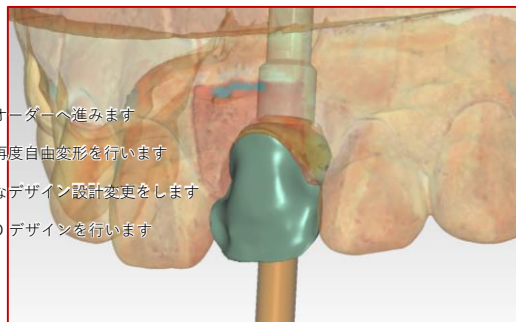


デザインが終了したら、
【次へ】を左クリックします。

マルチレベルカットバック部分を
スムーズに編集

【デザインを結合します】

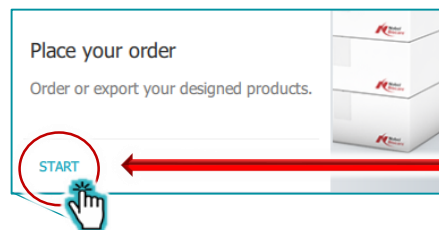
デザインを結合し、デザインの確定や再設計を行います



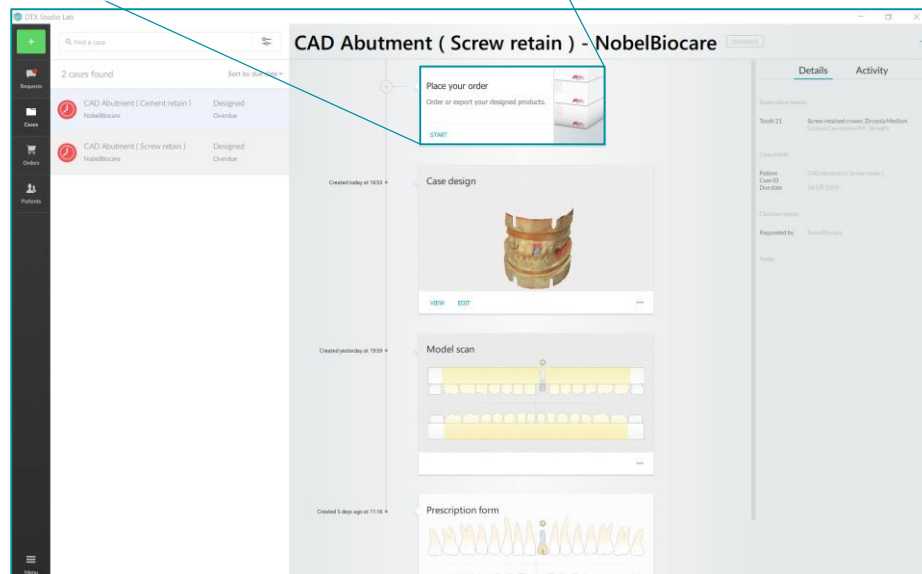
完了：デザインを確定し、オーダーへ進みます
フリーフォームの修復物：再度自由変形を行います
エキスパートモード：様々なデザイン設計変更をします
模型のデザイン：模型の3Dデザインを行います
(ModelCleator/要License)

【オーダーを行います】

デザインが完了すると、DTX STUDIO Lab ソフトウェア・フラットファームへ画面が戻ります。オーダーウィンドウが表示され、オーダーへ進めます。



オーダーへ進みます





GMT xx Nobel Biocare Services AG, 2019. All rights reserved. Distributed by: Nobel Biocare. DTX Studio, Nobel Biocare, the Nobel Biocare logotype and all other trademarks are, if nothing else is stated or is evident from the context in a certain case, trademarks of Nobel Biocare. Please refer to nobelbiocare.com/trademarks for more information. Product images are not necessarily to scale. Disclaimer: Some products may not be regulatory cleared/released for sale in all markets. Please contact the local sales office for current product assortment and availability. For prescription use only. Caution: Federal (United States) law restricts this device to sale by or on the order of a licensed dentist. See Instructions for Use for full prescribing information, including indications, contraindications, warnings and precaution